平成29年4月1日

那与竹

Nayotake

第80号

題字・下田歌子先生

平成29年度
定時総会のご案内

平成29年度の定時総会を下記の要領で開催致します。代議員ならびに一般正会員の皆様のご出席を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

日時：平成29年5月21日（日）
　　午前11時開会(10時30分開場)
場所：セルリアンタワー東急ホテル
　　B2F　ボールルーム
　　東京都渋谷区桜丘町26-1
　　（渋谷駅徒歩5分）
　　TEL：03-3476-3000
議題：1.平成28年度事業報告の件
　　2.平成28年度決算書承認の件
　　3.公益目的支出計画実施報告書承認の件
　　4.監査報告
　　5.平成29年度事業計画（案）及び予算（案）の件

【総会終了後、懇親会を開催致します。】
会費：会員　　10,000円
　　新入会員　9,000円
　　(会費は当日会場でも受け付けます。ただし、会費納入済の方、未納の方にかかわらず、5月18日以降キャンセルの場合は会費を頂戴いたします。ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。)

＊代議員は、後日お送りする「出欠連絡書」にご記入の上、4月末日までに郵送にてお知らせ下さい。

＊一般正会員で総会及び懇親会にご出席の方は、実践桜会事務室へ4月末日までにお申し込みください。尚、一般正会員は総会での議決権はありません。

〒150-0011　東京都渋谷区東1-1-40
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
E-mail：jissen-sakurakai-jim@forest.ocn.ne.jp

他人の子（ひとのこ）も、正しく叱る、思いやり

学校法人実践女子学園
理事長 井原　徹

「他人の子（ひとのこ）も、正しく叱る、思いやり」というアナウンスが、いつもバスで流れる。警察標語なのだろうか。とても意味深い言葉だと思うので、今回はこれについて書いてみる。

先ず率直に感じるのは「そんなこと、できません。」という思いである。どんな状況であれ、他人の子を叱ったら、その親から怒鳴り込まれそうだからである。「子」というのが、小学生、中学生くらいを指すのならともかく、高校生以上の人にへたに注意したら殴られそうである。

私が中学生のときだったと思うが、自転車で隣の村に仲間と遠征して遊んでいたときに、見ず知らずのおじさんから叱られたことがあった。何か悪いことをしたのだろう。「お前はどこから来たのだ。」「隣の村です。」「名前はなんていうのだ。」「井原です。」「井原と言えば、あの井原孝平さんの息子か。」「そうです。」といったやり取りが続いたあと、そのおじさんがこう言って私をたしなめた。「お前の親父の孝平さんは立派な方だ。よく知っている。その息子がこんな悪さをしたら、親父さんに恥をかかせることになるのだぞ。二度とこんなことをしてはいけない。」と。自分の親父が隣の村の大人たちに尊敬されているという事実を知って、背筋が伸びる思いであった。「すみませんでした。もうしません。」と謝って家に帰った。

それ以来、親父をみる目が変わった。明治の終わりの生まれで、176センチ・90キロの大男だった親父。ものすごいスパルタ教育であり、怖いということすら思う暇なく叱られ、殴られていた。親父が嫌いではなかったけれど、決して好きとか感謝を感じることはなかった。しかしこの一件以来、親父を尊敬する気持ちになった。「他人の子（ひとのこ）も、正しく叱る、思いやり」は、こうした状況の中では成り立つかもしれない。

「叱る」ということと似ている言動に、「怒る」ということがある。両者は、同じようだが多少ニュアンスが違うと思う。広辞苑によれば、「叱る」は【（目下の者に対して）声をあらだてて欠点をとがめる。とがめ戒める。】とある。「怒る」は、【①いかる。腹をたてる。②叱る】とある。「怒る」の中に「叱る」という意があるのを確認して、私はやや意外な思いをした。

「叱る」は、子供を含めて目下の者を、親などの年長者が「愛情をもって戒める」ことと理解していた。一方、「怒る」は、愛情の有無にかかわらず、腹が立った時の言動のように思う。両者の差は、私にとっては「愛情＝相手の成長を期待する気持ちの有無又はその濃さ」によるように思える。

昨今、家庭でも学校でも、親や先生が子供たちを叱る・怒ることが少なくなっていると聞く。殴るなど、もっての外と言われる。私は殴ることが良い教育方法とは思わない。叱る・怒るは、あくまでも子供の成長を願ってのことであり、あるいは子供が自分の非に気付いて自己是正を図るきっかけになればと願ってのことでなければならない。そう考えると、昨今、子供を叱る家庭や学校が少なくなっているのは、とても気になることである。

先の標語が良くできていると思うのは「他人の子も」の「も」が意味深である。自分の子だけではなく、という意が含まれている。

「正しく叱る」の「正しく」も相当難しい。どう叱るのが正しくて、どう叱るのが正しくないかが、叱る人の判断に任されている。正しい叱り方とは、多分前述のように「愛情をもって、あるいは成長を願って」になるのだろうと思う。正しくない叱り方とは、多分怒りにまかせて怒鳴りつけたり、あるいは殴ることだろうと思う。

正しく叱ることが「思いやり」を表すことだというフレーズは「叱ること＝思いやりを示す」と言うことなのだから、「思いやり」という言葉も吟味しておく必要がある。

広辞苑によると「思いやり」は、【①おもいやること②気の付くこと。思慮③自分の身に比べて人の身について思うこと。相手の立場や気持ちを理解しようとする心。同情】とある。①の「おもいやる」は更に広辞苑では【①思いをはせる。はるかに思う。②おしはかる。推量する。③人の身をおしはかって、同情する。④よくない状態になるのではないかと案じられる。心配である。】とある。私は「叱ることが思いやること」だという意味は、叱らないとその子はこの先、適切な道を歩むことが困難になるかもしれないから、他人の子ではあるけれど、心配して注意しましょう。」ということになるのではないかと理解する。

さて、私たちに上手くできますでしょうか。

（いはら　とおる）

皆様のお声を桜会へ

一般社団法人教育文化振興実践桜会
理事長 鈴掛 まゆみ

今年も実践桜会は、新入会員を1400名を迎え入れてスタートしました。

ご存知のように実践女子学園は、2019年（平成31年）創立120周年を迎えます。

そして実践桜会はその2年後の2021年（平成33年）に120周年をむかえます。

先日、学園より創立120周年式典の概要が下記のように発表されました。

記念式典　2019年（平成31年）5月7日（火）岩村にて
懇親会　　2019年（平成31年）5月11日（土）都内にて

2年後のことですが、会員の皆様にはこの機会に下田歌子先生の故郷“岩村”にての節目の式典に是非ご参加ください。全国各地より同窓生が集う機会を下田歌子先生が導いて下さったことに感謝します。学園主催の式典ですが、実践桜会の会員が多数参加できるように、桜会としてもいろいろ考えている最中です。一例として渋谷から前日にバスで岩村に行き、翌日の式典に参加し渋谷に帰るという案もあります。会員の皆様には参加ご協力よろしくお願い致します。

平成28年10月に公示しました代議員選出につきましては代議員立候補の届出を審査いたしました結果、平成29年・30年度の代議員171名が決定いたしました。平成27年・28年度代議員の方には2年間実践桜会のためにご協力いただきまして誠にありがとうございました。これからも引き続きご助言いただければ嬉しいです。新代議員の氏名は本紙28・29ページに掲載されています。引き続いて立候補してくださった方、そして新たに立候補してくださった方には2年間の任期どうぞ宜しくお願い致します。そして5月21日（日）平成29年度定時総会でお目にかかれることを楽しみにしております。

理事長拝命以来、ひとつひとつ目前の行事をこなすことに精一杯で、あっという間に1年が過ぎました。2年目の目標といたしましては全国にある支部を訪問し交流したいと思っています。総会などにあわせ支部会員さんと直接お会いして、お話しできることを今から楽しみにしております。昨年は、神奈川支部、埼玉支部、福島支部、新潟支部にうかがい、有意義な交流ができました。又、逆に、鳥取支部の皆さんが桜会館を訪れてくださり、渋谷の実践女子大学新校舎を一緒に見学し、楽しいランチ交流をいたしました。

平成29年度は2年に1度開催しております実践桜会親睦行事実施年に当たります。本年度は7月12日（水）に親睦バス旅行を企画いたしました。栃木方面を予定しており、栃木支部の皆様との親睦交流をする予定です。多くの会員のみなさまの参加をお待ちしております。10月発行の正会員向け情報誌“なよたけ情報版”には各支部それぞれの活動報告やクラス会報告も掲載されております。ご確認・お問い合わせは実践桜会までよろしくお願い致します。

会員の皆様をはじめ、各支部、各科会、桜会館利用の方々より、桜会本部は敷居が高く、遠い存在で…もっと身近な存在になってほしいという声を多く聞きました。私達理事、事務員のいる桜会館の桜会本部は、会員の皆様のご意見・ご要望・苦情・ご提案等、何でも受け入れていくつもりです。

そのためには、一例として、まず定時総会はせっかく全国そして海外よりたくさんの支部長さん、科会長さんが出席してくださる良い機会ですので、総会後に開催される懇談会に於いて、活発な意見交換・情報交換が出来れば今後に生かしていけると考えています。

『一つの舌と二つの耳あり、喋るより、聞くが多ければ、天理に適う事多し』という言葉を私はモットーにしています。是非、会員の皆様の“お声”を桜会本部にお届けいただければ幸いです。

各科会のみなさまには、いつも桜会行事にご協力いただきありがとうございます。

今号では各科会の母体と系列をあらためてふりかえっています。大学の現在の学科名と桜会の科会名の隔たりにわかりにくい点もあるためです。これからも会員の皆様そして、科会のみなさま、各支部のみなさまのお力添えをいただき、理事一同と共に実践桜会の活動を精一杯してまいります。よろしくお願い致します。

（すずかけ　まゆみ）

新学長挨拶

120周年に向けてさらなる発展を期して

実践女子大学
実践女子大学短期大学部
学長 城島 栄一郎

このたび田島眞学長の後を引き継ぎ、第15代学長に就任することになりました。歴史と伝統ある実践女子大学・実践女子短期大学部の学長職に就くことは光栄であり名誉であるという思いとともにその重責をひしひしと感じています。

私が本学に専任講師として奉職したのは昭和54年（1979年）4月のことです。当時は文学部に国文学科と英文学科、家政学部に食物学科と被服学科の2学部4学科、入学定員400人のコンパクトな構成でした。1、2年生が教養部の日野キャンパス、3、4年生が専門課程で研究室のある渋谷キャンパスで、所属した被服学科の被服材料学研究室は図書館の建物の半地下で調理実習室の隣でした。当時の渋谷キャンパスは中高生と大学生が一緒に学んでいました。80周年式典（1979年）が完成したばかりのグランド奥の中高体育館で開催され、その隣には六本木通りに面して渋谷寮がありました。この二つの建物の後地に新しく120周年記念館が建っています。一方、日野キャンパスの北門（現在の正門）を入ると右手にプールがあり、続いて第1館、2館、3館、4館、5館が西側に並び、左手には日野寮がありました。正面は広いグランドがあり右奥にはテニスコートやバレーコートなどが並んでいました。週2回日野キャンパスで被服材料学とその実験の授業を担当し、その後で時々テニスをやれるようなのんびりした雰囲気でした。

第二次ベビーブームに備えて東京都心の各大学が多摩地区などに展開を始めていました。本学も1985年に文学部に美学美術史学科を増設し、敷地面積の不足を補うため八王子の戸吹町にグランドを取得し、日野キャンパスに本館と体育館を建設して1986年に大学と法人が全面移転しました。短大の改組、大学院の拡充、1995年に家政学部を生活科学部に名称変更し生活文化学科新設などを経て、1999年に学園創立100周年を迎えました。その後、新4館を建設して2005年に人間社会学部を設置し、2013年には食生活科学科に健康栄養専攻の設置、2014年の生活科学部に現代生活学科の設置、渋谷校地に120周年記念館を建設して文学部、人間社会学部と短期大学部を移転して、現在は大学の入学定員が920名と大きく発展してきました。

2016年の出生数が100万人を切るというニュースがありましたが、日本の少子化は深刻さを増しています。大学入学を迎える18歳人口は減少しており進学率の増加である程度は補われてきましたが、2018年以降一段と減少傾向が強まります。多くの私立大学が定員割れを起こし経営の危機を迎えています。120年の伝統を誇る本学も例外ではありません。この危機を乗り越えて継続し発展していくことは容易ではありませんが、その道は大学の存在意義である原点にあると思います。大学の使命は入学した学生の優れた能力を見出し、それを伸ばし有用な人材として社会に送り出し、ひいては社会に貢献するということです。そのためにはまず入学者の基礎学力を向上させ、その後に続く大学・短大での共通教育と専門教育をより深く学び理解する基盤を作ることが必要です。また、学生と向き合いながら時代を先取りする不断のカリキュラムの見直しが必要です。

少子高齢化が進む中で18歳人口は減りますが、一方では体力気力ともに充実し新たな知識欲に燃えた高齢者は増え続けます。また、就労人口の減少による労働市場の流動化とそれにともなう高度な能力獲得の要求度が強まり、社会人に対する再教育への取り組みが高等教育の役割として重要になると思われます。男女共同参画社会の実現へ向けてその旗手となろうとしている本学において、卒業生も含めて女性の本格的な社会進出をサポートする教育体制をつくっていく必要があります。これには、新しいカリキュラム作成、開構時間帯や教室なども含めた授業形態、授業料体系、教職員の時間確保等々多くの課題があります。

グローバル化の現在、本学でも海外への留学サポートと海外からの留学生の受け入れに力を入れています。元々本学は清国からの留学生受け入れなどで先駆的役割を果たしていました。そのため、現在でも中国に太いパイプがあり相互に留学生を受け入れています。しかしながらその数は少なく、活性化が必要です。欧米、中国だけではなく東南アジア、インド亜大陸まで目を向けると無限の可能性があります。本学の魅力を高め交流を拡大していくための第一の方法は本学での研究の充実とその情報発信になります。

以上のように多くの課題があり、その実現には教職員の力の結集が必要となります。これらに力を注ぐためには事務作業の効率化などの環境を整備して、学生対応を含めた教育時間の確保と研究時間の確保が必要条件となります。学長として全力でこれらに取り組む所存です。卒業生の皆様方の温かいご支援をお願いいたします。（じょうじま　えいいちろう）

昭和24年 4月　佐賀県生まれ
昭和47年 3月　東京工業大学工学部有機材料工学科卒業
昭和54年 4月　実践女子大学家政学部専任講師、6月 東京工業大学工学博士
平成 5 年 4月　助教授を経て家政学部教授
平成 7 年 1月　家政学部被服学科主任（～3月）実践女子学園評議員（平成10年まで）
　　生活科学部生活環境学科主任（同年4月～平成10年）
平成11年 4月　実践女子学園情報センター長（平成16年まで）
平成18年 4月　生活科学部生活環境学科主任、実践女子学園評議員（平成20年まで）
平成24年 4月　実践女子学園生涯学習センター長（平成25年3月まで）
平成25年 4月　実践女子大学生活科学部長（平成29年3月まで）
　　実践女子学園理事（現在に至る）

Message

新校長挨拶

社会の変化に対応する教育の実現に向けて

実践女子学園
中学校 高等学校
校長 髙橋 基之

みなさまには、初めてご挨拶を申し上げます。縁あって、嶋野恵子校長に代わって、この4月から校長となりました髙橋基之でございます。みなさまとともに、伝統ある実践女子学園の教育に関わることができますことを、心から光栄に思っております。これまでの公立高等学校教員、公立中学校及び高等学校の管理職、東京都の教育行政等での経験を生かして、「堅実にして質素、しかも品格ある女性の育成」という中学校高等学校の教育方針のもと、生徒が元気で、学校生活に充実感、達成感が味わえる学校経営に精一杯努力して参ります。

社会は、これまでになく、急速に、大きく変化しています。情報化社会の発展の中で、デジタル画像も格段に精度が上がっています。これまで、文化祭や修学旅行等で、カメラに向かい「ピースサイン」をする生徒をよく見かけることがありました。その写真がスマートフォンを介して発信されたとき、指紋映像が抜き取られる心配もでてきています。生徒の将来の指紋認証に過ちがあってはなりません。これまでの温かい指導に加え、教育現場では、様々な新しい観点からの配慮と指導が必要になっています。

さて、昨年12月、文部科学省中央教育審議会（以下、中教審）では、平成32年度から中学校で実施される学習指導要領に向け、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』が示されました。この冊子が皆様のお手元に届く頃には、新しい中学校学習指導要領が告示されていることと思います。なお、高等学校の学習指導要領については、来年3月に告示される予定です。

急激な情報化やグローバル社会の進展の中で、中等教育に対する質の改善、充実が求められているのです。

そもそも生徒は、なぜ学ばなければならないのでしょうか。知らないことを「知りたい」という、生徒の「学びたい」という根源と、その上で、さらに、人生を「よりよく生きたい」という気持ちです。生徒には学習の「有用性」に気付かせ、生徒自らの「向上心」を奮い立たせていくことが大事です。情報が氾濫している中、「知的好奇心」が希薄になっています。そこで、教師自らが、今一度「人はなぜ学ぶのか」を改めて問いながら、生徒の「なぜ」を引き出して教育活動を実践していくことが、大切であると考えています。また、「よりよく生きる」とは、単に、個人や、あるグループが「よりよく生きる」ことではありません。「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努めること。」とともに、「社会の中でよりよく生きる」教育活動を推進していくことです。身近な家族から、今だけでなく将来の人類、地球まで、人間の生きる社会とその環境全体を視野に入れて、考えて生きることが、いよいよ重要になっていると感じているところです。

そのためにも必要な教育がキャリア教育です。しかし、将来生きる職業生活を考える前に、人は、家庭生活、市民生活を築くことを忘れてはなりません。生徒には市民として生きる考え方を踏まえたキャリア教育を推進していくことが必要です。それは、校祖下田歌子先生の教えである、「幅広い教養と実践的な教養」の実践です。

学校は地域、市民生活の中にあります。今回の中教審答申では、「社会に開かれた教育課程」を示しています。教育活動が社会を視野に入れて進めること、社会で活躍するための資質・能力を育てること、そのためにも社会の様々な関係機関と連携することを求めています。今回の答申では、聞く、話す、読む、書くという英語の4技能の育成も求めています。英語は使ってこそ、力がつくと言われていますが、英語に限らず、様々な教科の知識もしっかりと定着させるためには、学習で得た知識や技能を積極的に使う場をつくることが必要です。生徒が習得したことを活用し、さらに探究していくという深い学びのプロセスを重視していくためにも、他教科の授業と授業をつなぐ、教科の授業と総合的な学習の時間、行事や部活動をつなぐ実践が必要です。そのことが生徒に豊かな「教養」を身に付けることになります。正に、「実践女子教育」です。知識と知識をつないで、生きる「知恵」、「教養」として、生徒の将来の判断につながるものとして育てていく学校経営の在り方を今後も探究して実践して参ります。特色ある本校のこの実践を、実践桜会のみなさま、そして地域にも積極的に発信して理解していただき、高大接続など、新たな教育の在り方を見いだして充実した教育活動として参ります。

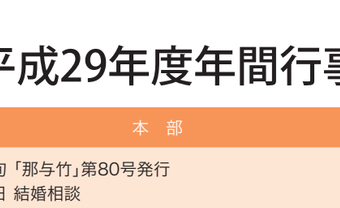
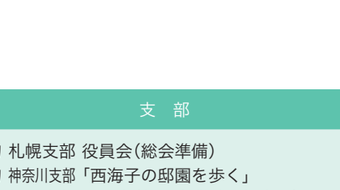
実践桜会の益々のご発展を心からお祈り申しあげるとともに、これまでと変わらない温かいご支援をお願い申し上げます。

（たかはし　もとゆき）

東京都出身。
昭和53年3月 筑波大学第一学群自然学類地球科学専攻卒業。
昭和53年4月 東京都立東大和高等学校教諭。
平成 8 年4月 東京都教育委員会指導主事。
平成14年4月 東京都立豊島高等学校定時制教頭。
平成17年4月 東京都教育委員会課務担当副参事として、新規事業の学校経営支援センターの設立準備を行う。
平成18年4月 東京都中部学校経営支援センター統括学校経営支援主事。
平成20年4月 豊島区立西巣鴨中学校校長。
平成23年4月 東京都立目黒高等学校校長。
平成27年4月 東京都教職員研修センター授業力向上課教授。
平成28年4月 秀明大学学校教師学部教授、教育研究所所長。

実践桜会平成29年度年間行事予定表

□日は未定

年月	本部	支部
H29 4月	中旬「那与竹」第80号発行 8・22日 結婚相談 12日 法律相談 □日 実践桜会奨学生(学園)募集 □日 入学記念品贈呈(院・大・短・中)	上旬 札幌支部 役員会(総会準備) 上旬 神奈川支部「西海子の邸園を歩く」 上旬 福岡支部 役員会(年間事業計画打合せ) 上旬 佐賀支部 第1回幹事会(支部総会準備・会計監査) 16日 千葉支部 第14回支部総会・講演会(於:京成ホテルミラマーレ) 中旬 山梨支部 役員会(事業計画検討) 21日 群馬県支部 総会準備会(於:高崎ワシントンホテル) 22日 福島県支部 第3回役員会
5月	1日 実践桜会奨学生(大学)募集・締切り 1日 国際交流基金奨学生募集・締切り 上旬 実践桜会奨学生(大学)選考委員会(書類選考) 10日 法律相談 13・27日 結婚相談 15日 定時総会(於:セルリアンタワー東急ホテル) 母校への助成金贈呈	上旬 札幌支部 役員会(総会案内発送) 20日 高知支部 総会・懇親会 中旬 佐賀支部 第2回幹事会(支部総会案内発送)
6月	3日 実践桜会奨学生(大学)選考委員会(面接選考) 5日 国際交流基金奨学生選考委員会(書類選考) 10・24日 結婚相談 14日 法律相談 17日 実践キャリアネット「総会・講演会」(於:渋谷) 18日 国際交流基金奨学生選考委員会(面接選考) 下旬 実践桜会奨学生(学園)候補者面接 実践キャリアネット「卒業生の為の仕事についての何でも相談会」は随時受け付けております。詳しくはホームページをご覧ください。 	初旬 山形支部 総会・懇親会(於:寒河江) 3・17日 福島県支部 第4・5回役員会(総会準備) 上旬 鹿児島支部 支部総会 初旬～中旬 茨城支部 第2回役員会(総会等の準備・資料作成等) 11日 札幌支部 総会・親睦会(於:京王プラザホテル札幌) 18日 群馬県支部 総会(於:ホテルメトロポリタン高崎) 中旬 山梨支部 ラベンダー収穫・小物づくり 中旬 島根支部 総会 24日 埼玉支部 第21回総会 24日 福島県支部 支部総会・講演会(於:郡山市　花の祥) 25日 沖縄支部 第25回総会(於:那覇セントラルホテル) 下旬 岩手支部 総会・懇親会(盛岡市内にて予定) 下旬 福井支部 総会・懇親会 下旬 佐賀支部 第3回幹事会(欠席会員への総会資料発送) 
7月	1日 実践桜会奨学生(大学)説明会 1日 国際交流基金奨学生説明会 8・22日 結婚相談 12日 法律相談 20日 社会活動助成金申請締切り	2日 神奈川支部 総会・懇親会(於:グランドホテル神奈川中平塚) 上旬 群馬県支部 総会反省会・資料発送 22日 福島県支部 第6回役員会(総会の反省) 下旬 札幌支部 役員会(総会資料発送・講演会準備) □日 千葉支部 会報「ミルフィーユ」40号発行
8月	9～17日 実践桜会会館夏季休暇 26日 結婚相談	中旬 福岡支部 役員会(総会・研修会・打合せ) 下旬 山梨支部 役員会(総会打合せ)
9月	9・23日 結婚相談 13日 法律相談 30日 秋季運営委員会(於:実践桜会会館) 30日 第1回実践桜会奨学生交流会 30日 実践キャリアネット「秋の会員交流会」	1日 高知支部 会報発行 上旬 札幌支部 講演会 中旬 鳥取支部 視察研修(ドナルド・キーン・センター柏崎及び長岡) 下旬 札幌支部 役員会(講演会の反省) 下旬 山梨支部 支部総会・研修会・懇親会 □日 千葉支部 東葛地域におけるミニ同窓会 □日 千葉支部 帯を使った兜づくり(松戸ネット)
10月	初旬「なよたけ情報版」№23発行 7日 学祖祭(護国寺参拝・実践桜会会館祭壇設置) 11日 法律相談 14・15日 常磐祭(渋谷キャンパス) 常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 14・21日 結婚相談 28・29日 実践桜会バザー開催、中高「ときわ祭」に参加	初旬 埼玉支部「平家物語をたずねる旅」(深谷) 中旬 群馬県支部 親睦昼食会 □日 函館支部 支部総会・懇親会

□日は未定

年月	本部	支部
11月	8日 法律相談 11・12日 常磐祭(日野キャンパス) 常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 11・25日 結婚相談 18日 実践キャリアネット「セミナー①」(於:渋谷)	6日 愛媛支部 総会(於:松山市) 11日 三重支部 総会・懇親会・講演 中旬 島根支部 講演会(出雲文化伝承館協賛) □日 千葉支部 千葉近辺におけるミニ同窓会
12月	9日 結婚相談 13日 法律相談 27～1月5日 実践桜会会館冬季休暇	上旬 福岡支部 総会・研修会 □日 千葉支部 会報「ミルフィーユ」41号発行
H30 1月	8日 祝・成人の会 10日 法律相談 13・27日 結婚相談 14日 歌舞伎観劇会(於:国立劇場) 20日 実践キャリアネット「セミナー② 新年会員交流会」 □日 実践桜会新委員選出	下旬 札幌支部 役員会(次年度の打合せ) 下旬 山梨支部 研修会・懇親会
2月	10・24日 結婚相談 14日 法律相談 □日 実践キャリアネット「卒業生と在学生との交流会～OG懇親会」	上旬 群馬県支部 役員新年会
3月	10日 第2回実践桜会奨学生交流会 14日 法律相談 17・24日 結婚相談 □日 卒業記念品贈呈(院・大・短・高)	2日 岡山支部 支部会(花房昌子氏作品展鑑賞　於:真庭市勝山"辻本店") 中旬 札幌支部 役員会(総会準備) □日 千葉支部 会報「ミルフィーユ」42号発行

学園だより

1. 実践女子大学香雪記念資料館 平成29年度企画展　年間スケジュール

・第17回 学祖・下田歌子展
　平成29年4月3日～6月2日
・新収蔵品展(仮)　中国美術史入門展Ⅰ期(仮)
　平成29年7月3日～8月6日
・源氏物語享受の諸様相を楽しむ(仮)
　平成29年　秋季
・女性画家展(仮)
　平成29年 冬季
・中国美術史入門展Ⅱ期(仮)
　平成30年1月9日～1月31日

※展覧会名、会期は変更になる場合がございます。最新情報はホームページ等でご確認ください。

2. 実践女子大学・実践女子短期大学部「ホームカミングデー ～卒業生のつどい～」

平成29年10月15日(日)、卒業生の皆様を母校に向かえる「第19回 ホームカミングデー ～卒業生のつどい～」を渋谷キャンパスで開催いたします。

常磐祭との同時開催となりますので、この機会に足をお運びいただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちいたしております。

※詳細は、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

3. 実践女子大学・実践女子短期大学部 公開市民講座(予定)

平成29年度は次の講座を予定しています。

【国文学科】
　源氏物語享受の諸様相を楽しむ

【美学美術史学科】
　ヨーロッパのクリスマス文化と美術・音楽

【食生活科学科】
　健康に過ごすための食事と運動の工夫

【生活環境学科】
　所変われば品変わる－南欧にみる生活環境学

【生活文化学科】
　子どもの心と学びの姿に大人はどのように関わるのか

【現代生活学科】
　実践！プログラミング教育－スマートフォンでロボットをプログラミングしながら、新しい社会と人間について考える

※日時等詳細は、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

学園行事予定表

年月	学園
H29 4月	2日 入学式(大学・短期大学部・渋谷)
	3日 入学式(大学・日野)
	7日 入学式(中高)
5月	7日 学園創立記念日
	21日 オープンキャンパス(渋谷)
6月	18日 オープンキャンパス(日野)
7月	30日 オープンキャンパス(日野)
8月	6日 オープンキャンパス(渋谷)
	26日 オープンキャンパス(日野)
	27日 オープンキャンパス(渋谷)
9月	17日 オープンキャンパス(日野)
10月	7日 護国寺墓参
	14日 常磐祭(渋谷)
	15日 常磐祭(渋谷)
	ホームカミングデー(渋谷)
	22日 オープンキャンパス(渋谷)
	28・29日 ときわ祭(中高)
11月	11・12日 常磐祭(日野)
H30 3月	3日 高校卒業式
	19日 中学卒業式
	20日 卒業式(大学・日野)
	21日 卒業式(大学・短期大学部・渋谷)
	25日 オープンキャンパス(渋谷)

輝く人

リトアニアでの香会

小畑 洋子
（昭和53年／大学国文卒、実践女子大学短期大学部非常勤講師）

平成28年は日本とリトアニアが新たな外交関係を開設して25周年で、リトアニアの日本大使館がさまざまな行事を行いました。私も大使館のお誘いを受け、8月29日から9月6日までの日程でリトアニアを訪ね、実践女子大学香道研究会の卒業生の丸山順子（昭和46年短大英文卒）、波木井加奈子（平成20年大学美学卒）、新村沙紀（平成24年大学国文卒）、お香仲間の高橋洋子、山内近佳代、大使のドイツ留学時代の友人の小畑徳彦と私の7人で、香道を紹介して参りました。

フィンランドのヘルシンキで小さな飛行機に乗り換えてリトアニアに着きました。バルト三国の一番南にある、緑の森に包まれた美しい国です。香席を開催したのは、次の4都市でした。

1. ビリニュス市

8月30日に、首都ビリニュス市の日本大使館内にある教育文化センターで香席を行い、6歳から13歳までの子ども20名と保護者2名が参加しました。折り紙、羽子板などの日本の伝統文化を取り入れ、日本のお正月の羽根つき遊びをテーマとした「追羽根香」という香遊びをいたしました。3種類の香りにそれぞれ「黄の羽根」、「緑の羽根」、「赤い羽根」という名前を付け、初めにそのうち2つの香りを試してもらい、もう一度、今度は名前を伏せて3つを回して順番を当ててもらう、香りの記憶当てゲームです。たまたまリトアニアの国旗が黄・緑・赤の3色旗でした。回答は、小さな子どもがいるので、三色のシールで答えてもらいました。記録にはアルファベットで名前を書きましたが、それとは別に一人一人の名前を筆で和紙にカタカナで書いてあげると、興味深そうに自分の名前をじっと見ていました。お香席の後、小さな羽子板と羽根で羽根つき遊びを体験してもらい、折り紙で犬を折って中に香を入れてにおい袋を作り、記念に持ち帰ってもらいました。

平成24年度に文化庁の事業で日野市、渋谷区を含む東日本各地で親子香道教室を開催し、その後も公益財団法人お香の会が5年計画で全国で行っている親子香道教室を担当させていただきましたが、海外での親子香道教室は今回が初めてでした。

2. カウナス市

8月31日、中世の面影を残すリトアニア第二の都市カウナスまでは、ビリニュス中央駅から1時間30分の電車の旅でした。カウナスの日本領事館に第二次世界大戦初期に領事代理として勤務していた杉原千畝氏は、ナチスの迫害を逃れ日本通過を求めて来たユダヤ人1600人近くに日本政府の指示に背いてビザを発行し、日本のシンドラーと呼ばれています。これにより第三国に渡ることができたユダヤ人は6000人を超えると伝えられています。

香席は、今は杉原千畝記念館として保存されている旧日本領事館の一室で開催いたしました。館内には地元の大学の協力で日本文化研究センターが開設されており、センターの研究員と地元の方、計10名に参加していただいて、「追羽根香」をいたしました。

ビリニュス香会

カウナス香会

3. アリートス市

9月3日、ビリニュスの南西にあるアリートス市に行き、世界盆栽展の会場となっているアリートス市立劇場で香席を開催いたしました。展示会場には大小さまざまな盆栽が見事に展示されており、舞台ではさまざまな催し物が次々に行われていました。お香の実演には100名以上の観客が集まってくださいました。この日は「源氏香」をいたしました。5種類の香を5つずつ用意し、その中から任意に5つを選んで焚き、香の異同を当てるゲームです。52通りある答を源氏物語の54帖から最初の巻の「桐壷」と最後の巻の「夢の浮橋」を除いた52の巻名で答えます。舞台に源氏香の図を掛け、スクリーンに平成20年に実践女子大学で行った「源氏物語千年紀」記念講演の際に用いたものを元に作成したリトアニア語のパワーポイント資料を映し出しました。そして、大使館に同時通訳を付けていただいて、香道と源氏香の説明をいたしました。舞台の上に伏籠（ふせご）とあごた香炉を飾り、着物を二人で伏籠に掛ける動作を実演し、その後、会場から3名のリトアニア人の方に舞台に上がっていただいて、実際に香席を体験していただきました。観客の方には、舞台終了後に舞台の前に5つの香炉を置き、説明しながら実際に香りを楽しんでいただきました。

4. ザラサイ市

9月5日に香席を開催したザラサイ市は、首都ビリニュスから車で3時間半、ラトビアとベラルーシの国境近くの美しい湖に囲まれた静かな町です。会場のザラサイ地区公立図書館からは2つの湖が見え、ゆっくりと時間が流れていくような落ち着いたたたずまいでした。香席の参加者はザラサイ市長、副市長、日本大使夫妻ら20名、香席を見守るギャラリーは60名ほどでした。この日もパワーポイントを映し出して説明し、「追羽根香」をいたしました。ギャラリーの方々にも香炉を回し、同じお香を楽しんでいただきました。

今回、大使館にご尽力いただき、日本とリトアニアの記念となる年に4都市で香席を開催し、リトアニアで初めて日本の香の文化を紹介することができたことを心から嬉しく思っております。香りの文化が今後も下田先生のお言葉のように八島の外まで香ることを願い、私も微力ながら引き続き力を尽くして参りたいと思います。

（おばた　ようこ）

［プロフィール］
香道御家流 師範
公益財団法人 お香の会 評議員
実践女子大学短期大学部 講師

経歴：5歳より、書家である父 工藤愚庵に書の指導を受ける。
実践女子大学香道研究会で、香道御家流第二十一代三條西堯山宗家に師事。
実践女子大学文学部国文学科を卒業後、財団法人お香の会、朝日カルチャー等の香道教室の講師を務める。
1982年から2年間ドイツに滞在し、その間、ミュンヘン、ニュルンベルグ、マンハイム等で香道を通じた国際文化交流に努める。
現在、香道御家流汲霞会（薬師寺東京別院内）を主宰するほか、実践女子大学香道研究会の学生を指導し、実践女子大学短期大学部で「香の文化」を講義するなど、香道の普及に尽力している。

アリートス香会

ザラサイ香会

輝く人

ドナルド・キーン・センター柏崎
設立の奇縁と、底に流れる普遍の真理

公益財団法人ブルボン吉田記念財団理事
ドナルド・キーン・センター柏崎 担当理事＆学芸員
吉田 眞理

何故、柏崎にドナルド・キーン・センターがあるのか、そんな疑問を皆さんがお持ちになると思います。その経緯と、この設立の一連の出来事の底に流れている普遍の真理と、このセンターから何を発信していくべきかについて、お話しさせて頂こうと思います。

この設立には、多くの方々の不思議な御縁が書ききれないほど繋がっていますが、私が感じた事をご紹介したいと思います。

1976年、ドナルド・キーン先生を初めて知ったのは、実践女子大学の学生の時に読んだ書籍でした。あの時の「こんなに日本の事を温かく思って下さる外国の方がいるのか」という【好印象】とドナルド・キーンという名前はしっかり覚えていました。

2006年3月、私は、今はドナルド・キーン先生の御養子になられている上原誠己さんの義太夫節を新潟の砂丘館というところで聞きました。25年間国立劇場で活躍されていた技術は素晴らしかったのですが、一番の印象は、お部屋が狭く【かわいそう】という思いでした。

2006年4月、私は友人に誘われて、柏崎の飯塚邸という史跡に初めて訪れ入った瞬間に、ここで上原さんの演奏を入れた企画をしようと何故か決めました。飯塚邸は昭和天皇様がお泊りになった、里山に囲まれた庭園の中にあるお屋敷でした。実は故郷柏崎についても元気が感じられず「かわいそう」と思っており二つの思いが重なったのでしょう。

2006年10月、「柏崎飯塚邸から世界への発信・美しい地球環境と和の心」と題して、柏崎を世界に発信する為の布石として考えました。その中心に上原さんの義太夫節を入れました。柏崎の当時の前市長、現市長の二人の奥様達のボランティアとしてのご協力を頂くことで【和】がその企画の一番の中心軸と考えました。柏崎市民ボランティアで実行委員会を作り、成し遂げました。

2006年11月、上原さんは、ご自分の今後の事についてドナルド・キーン先生に教えを頂く為に、新宿文化センターでの先生の御講演の楽屋にアポイントメントも取らずに初めて伺いました。その一カ月後にキーン先生が上原さんに御提案したのが、「越後国柏崎・弘知法印御伝記」という300年ぶりの復活初演でした。上原さんは佐渡の人形遣いの西橋さんと作品を作り上げていきました。

ドナルド・キーン先生と鳥越先生の柏崎市政70周年の時の講演会

2007年9月、飯塚邸での公演が御縁で、上原さんが私のもとにその企画を持ってきたのが、中越沖地震の一か月半の時でした。私はその企画を見た瞬間、あまりの奇縁の塊に驚きました。

①ドナルド・キーン先生が御提案している。
②その台本が、歴史的に有名なドイツ人医師ケンペルにより300年前に日本から持ち出され大英博物館に眠っていた。
③その台本を、キーン先生の御友人の早稲田大学鳥越教授が、発見、翻刻出版してキーン先生が読んでおり、それを覚えていて上原さんに上演の提案をした。
④名前に「柏崎」とついている。
⑤作品の内容に時空を超えた哲学がある。
⑥震災の後という時期的な運命を感じる。

私は、柏崎の歴史や文学に詳しい霜田文子さんにご相談しました。彼女は被災市民でボランティアの実行委員会を作り、企業協賛を得て、㈱ブルボンが特別協賛として関わり、2009年6月、300年ぶりの復活初演を柏崎で無事成功させました。

2010年7月、これをきっかけに柏崎市政70周年として、キーン先生と鳥越先生の柏崎での講演が実現しました。

2010年10月、キーン先生を実行委員長とした東京公演に、㈱ブルボンが、特別協賛という形で関わりました。

ドナルド・キーン・センター柏崎の、ニューヨークの先生の書斎の復元展示室

センターオープンの時の応接室でのキーン先生と私

2011年、先生のコロンビア大学での最後の御講義を㈱ブルボンプレゼンツで番組提供の準備と、先生の日本永住の為の引っ越しのお手伝いをしている最中に東日本大震災が起きました。多くの外国人が日本から脱出する中、キーン先生は日本への深い想いから、ただの永住ではなく、帰化し日本人になると発言され、時の人となりました。その様子を主人である㈱ブルボンの社長が、「日本の恩人として、誰かが形にしなければ」と、たまたま引越しのお手伝いをしていたこともあり、柏崎の㈱ブルボン研修センター内の空間を活かして、ニューヨークの先生のお部屋をそのまま再現した「ドナルド・キーン・センター柏崎」を創る事にしたのでした。

ドナルド・キーン先生は日本の文学・文化研究の第一人者であり、世界に発信して下さいました。文化勲章も受賞された立派な学者、教育者でありますが、それと同時に、一人の人として立派な方でもあります。

太平洋戦争の最中、捕虜収容所で日本人捕虜を尊い人として生きるように励ましたり、親切にシャワールームで音楽を聞かせたり、亡くなった兵士の血まみれの手帳を親元に届ける為に、更に捕虜としてまだ生きている事を彼らの両親に伝える為に、東京の焼野原を歩き回ったのです。その人としての優しさが回りに感動を与えセンターに繋がったと言えます。さりげない「哲学と行動の美学」。

先生のお宅に初めて伺った時、先生が、「よく国際人とはと聞かれて僕が答えるのは、あなたと私は同じという感覚を持っている事」とおっしゃいました。それは先生が実践された言霊として私は一生忘れられません。

その心と、市民がボランティアで動いてきた行動、日々ドナルド・キーン・センター柏崎を支えて下さっている多くの産学官民の大人達の心が重なります。終戦後の東京で先生が驚嘆したのは、日本人の親切心が一般の市民によって、自分達の小さな木造の家が、さんざん破壊されてしまった後で、とてつもない親切が発揮されたという事実だとおっしゃっています。日本が世界に発信すべきものはこのさり気ない心であると確信しています。　（よしだ　まり）

東京公演をした時の打ち上げでの挨拶

ドナルド・キーン先生との御縁を繋いだ、柏崎飯塚邸での企画

ボランティア主催のセンターお茶会

［プロフィール］
昭和32年　新潟県柏崎市生まれ。
昭和53年　実践女子短期大学英文科リベラル学科卒業。
昭和55年　実践女子大学文学部英文学科卒業。
昭和60年　結婚
平成15年　小鳩幼稚園創立50周年　母の会会長。
現　在　公益財団法人ブルボン吉田記念財団　理事
ドナルド・キーン・センター柏崎　担当理事・学芸員
公益財団法人にいがた文化の記憶館　理事

輝く人

子供たちと共に

社会福祉法人 敬愛学園
多摩境敬愛保育園 副主任栄養士
吉川 瑛子

著者近影

私は実践女子短期大学食物栄養学科を卒業し、実践女子大学食生活科学科食物科学専攻へ3年次編入しました。短大では栄養士と栄養教諭の免許を、大学では家庭科の教員免許を取得しました。卒業後、社会福祉法人 敬愛学園 多摩境敬愛保育園に入職し、8年目の今は副主任栄養士として食事部門を引っ張っていく立場となっています。

当法人は八王子市を中心に11園の認可保育園と1箇所の高齢者のデイサービスセンター、8つの学童保育所を運営しています。私の勤務している多摩境敬愛保育園は朝7時から夜8時までの13時間保育を行っています。当園は常勤栄養士3名、短時間栄養士2名で0～5歳児、職員分の120食の食事とおやつを作っています。週に2回、当法人で運営している2つの学童へ140食分の手作りおやつを提供しています。私が保育園で働こうと思ったきっかけは短大2年の時に先生に勧められ、幼稚園へ食育のボランティアに行ったことです。他にも家庭支援センターで保育のボランティアに行ったり、中学校へテーブルマナーのボランティアに行ったりと様々な所へ行きました。ボランティアを始めた頃は緊張もあり、子どもたちとの関わりに戸惑い、何を話していいのかわからないことばかりでした。だんだんと回数を重ねる度に周りの人が子どもたちへかける言葉や接し方を見て自分なりに要領をつかみ、子どもたちと遊ぶのが楽しくなりました。そして様々行ったボランティアの中でも幼稚園へ行き、お箸の持ち方のお話をするボランティアをさせて頂き、子どもたちがわかりやすいように工夫を凝らした教材作りや伝わりやすい話し方など自分たちで考えたことがとても面白くやりがいを感じました。学生時代にこういった経験をしたことで素直でかわいい子どもたちと関わる仕事がしたいと思え、就職の道が開けました。ボランティアを勧めてくださった短大の先生にはとても感謝しています。そんな学生時代の経験が今の仕事に大いに活きています。

当園の調理室はガラス張りなので、食事を作っている様子がよく見え、お子さまや職員とコミュニケーションを取りやすい環境です。ユニホームもエプロンと三角巾ではなく、赤いベレー帽に赤エプロンのスタイルで明るく元気いっぱいな調理室です。

栄養士は調理室にずっといるイメージかもしれませんが、当園ではお子さまと毎日関わることができます。食事を食べるお子さまを身近に感じられるからこそ、美味しい食事を作りたいな、こんな話を伝えたいなという思いがわいてきます。決まった時間に食事を提供する調理業務はもちろんのこと、お子さまと関わる時間を大切にし、栄養士から様々なことを発信しています。どんな時でも、笑顔を忘れず常に声をかけあい、お子さま一人一人に配慮したおいしく安全な食事を毎日お届けできるよう努めています。

幼児クラス“お箸の持ちかた”のお話

絵本献立の日：栄養士と保育士が大きな絵本を持ってクラスをまわります。

調理室

栄養士が手作りした食育教材

クリスマス会はスペシャルなパーティーメニュー①

クリスマス会はスペシャルなパーティーメニュー②

保育園の栄養士は調理業務、献立作成を行うだけでなく、食育の推進も大切な業務の1つです。食育はお子さまが様々な経験を通して食に興味関心が持てるよう取り組むことを目的としています。保育園での食育は幅広く、0歳から行っています。0歳からの食育活動と言うと少し難しいように感じるかもしれませんが、食材に触れたり、食材をちぎったりと簡単なことから始まります。乳児期に食材に触れることで食材そのものの匂いや手触りなど感じることが大切だと考えています。食育活動の1つ1つにお子さまのこういう所を育てたいという目的意識を持ち行っています。お子さまの育ちを意識した食育活動は栄養士の工夫次第で幅が広がるものです。私は調理室のリーダーとしてお子さまの発達や年齢などを考慮し食育活動を計画しています。お子さまの姿を知らなければ最善の食育を計画することができませんので、積極的にお子さまと関わり、お子さまと過ごす時間を大切にしています。実際のお子さまの姿を見て感じることで、食育活動や調理業務、献立作成に反映させています。

栄養指導として咀嚼指導や偏食指導といった指導も行っています。お子さまにわかりやすく伝えるにはどうすればいよいか悩むこともありますが保育士と情報交換や意見交換をしながら工夫をこらした指導を行っています。お子さまへの食育活動の発想がひらめくときは学生時代に経験した様々なことを思い出し、取り入れることもあります。

離乳食調理や大量調理など、先輩に教わりながら調理現場で覚えていくのはもちろんですが、学校での実習等で学んだ知識があることが前提だと思いました。私自身も社会に出てから勉強不足を実感したことや学生時代は何のことか分からないでいたことが実際に調理現場に出て授業で習ったこととつながった部分もあります。学生時代のノートや教科書を読み返したこともあります。栄養士課程で学んだことは栄養士として働くのであれば全て意味があるものです。栄養士は栄養のプロとして専門分野で働くので、専門知識を深めていかなければと日々痛感しています。先輩に追いつくためにも、後輩に教えるにも、自分自身のためにもきちんとした情報を得ること、学ぶことが大切だと考えています。

興味のあることを学び、力を培われた実践女子大学での生活が私の人生で一番濃く、一番心に残っています。そんな思いを胸に保育園の栄養士として日々邁進しております。

（よしかわ　えいこ）

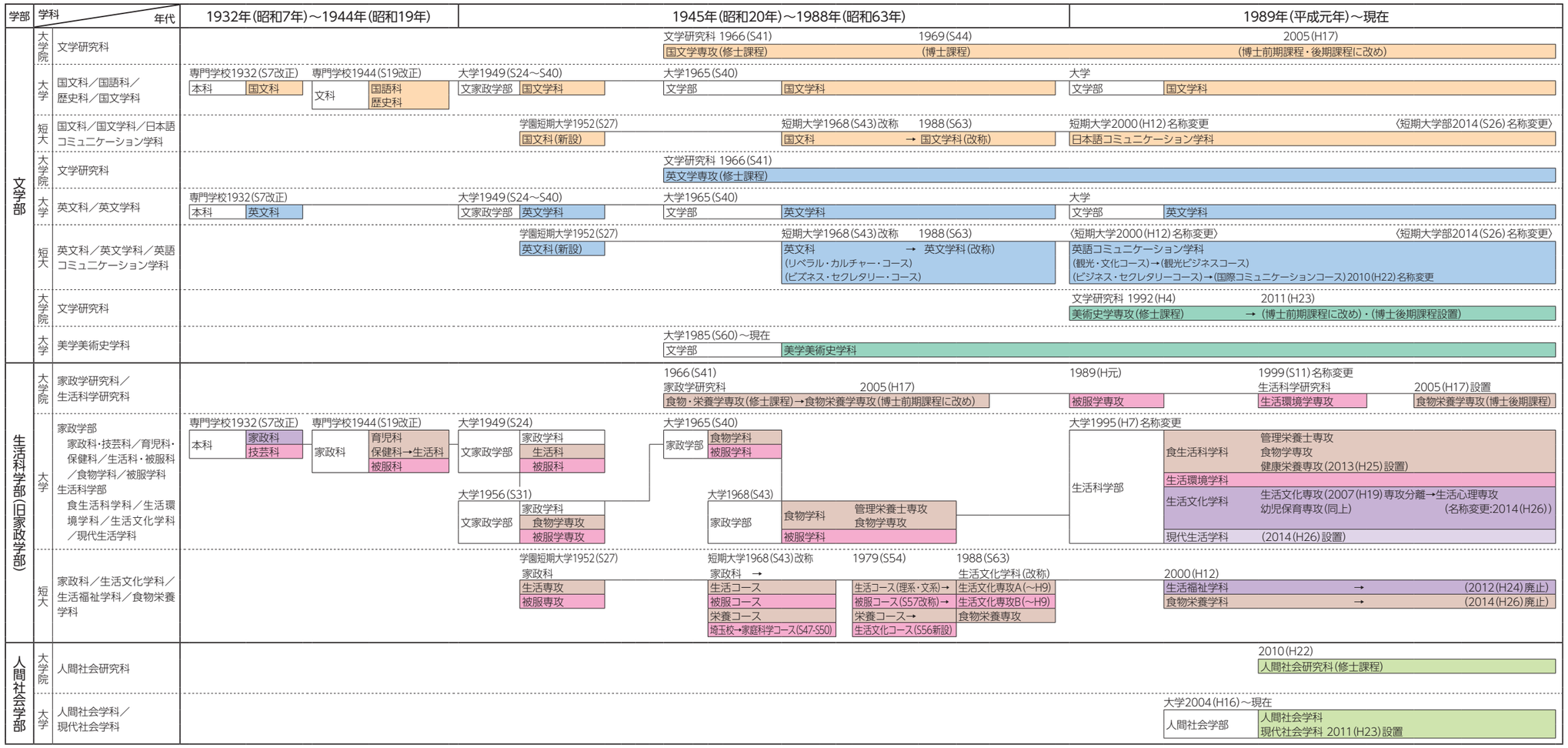
［プロフィール］
平成21年　大食卒

大学・短大の学科変遷と実践桜会の科会との繋がりについて

昭和7年の専門学校から平成29年の現在まで、学科の変遷を辿りながら、改めて科会を形成する学科系列のご紹介と、合わせて、実践桜会の協力団体である科会をご紹介します。

科会は桜会の特命委員、役員選考委員等の推薦母体となっています。桜会行事、バザー等の活動にも多大なご協力を頂いています。科会は卒業学科を母体とした友好団体で現在7つの科会があります。各科会、独自の活動で会員相互の親睦、研鑽、体験、見学等を行っています。各科会の年間行事はP16「科会だより」でご紹介しています。各科会へのご入会についてはホームページ「科会」をご覧ください。

学科の変遷



国文系

実践国文科会

大学 (国文科・国文学科・大学院)
短大 (国文科・国文学科・日本語コミュニケーション学科)

「実践国文科会」は、専門学校国文科卒業の皆様が作られた会を基に1975年開設されました。以来42年、会員の相互研鑽による年1回発行の会報誌「りんどう」を中心に活動しています。「りんどう」は皆様からご支援、ご好評をいただいております。ありがとうございます。会員皆様の投稿をお待ちしております。総会、講演会、古典芸能鑑賞、文学散歩などの行事もあり、卒業後の友好の場にもなっていますのでどうぞご参加ください。

科会長　若松 幸子

英文系

実践英文科会

大学 (英文科・英文学科・大学院)
短大 (英文科・英文学科・英語コミュニケーション学科)

「実践英文科会」は、専門、大学、短大の卒業生が、母校の行事で集まる折々の話し合いが実を結んで、1977年に発足しました。それから四半世紀余り、先輩から後輩へと引き継がれて、現在、本会は、同窓会全体の組織である実践桜会の英文系列の核となって、生涯学習や社会活動を通して、親睦を深めるいろいろな活動をしています。英文科の卒業生であれば、誰でも入会することが出来ます。皆様のご参加をお待ちしています。

科会長　山内 典子

家政・食物系

実践家政科会

大学 (家政科・育児科・保健科・生活科・食物学科、食生活学科・大学院)
短大 (家政科・生活文化学科・食物栄養学科)

世の中の制度が変わっていく中で女性の職業、生き方もかわってまいりました。家政科会も社会を見つめ合わせながら活動をしていきたいと考えております。

皆様にご支援をいただきありがとうございます。常に明るい家政科会が出来ます様、努力してまいります。

家政科会は57年の歴史の中で「会員自身の向上と共に同窓生共々、平和発展に努力し、次世代の若い方々を支援、切磋琢磨して多くの人の為に努めていくことを考えましょう」この志は、会員の変わらない精神でございます。

科会長　熊切 冨子

被服・生活環境系

実践技芸科会

専門学校 (技芸科)

主体となる技芸科の卒業生が昭和20年で最後となりますので、残念ながら会員数は年々減少しております。

特技の染色、編物、日本刺繍など各種講習会を続けておりますので、どなたでもご入会をお待ちしております。

科会長　中岡久恵

実践被服科会

大学 (被服科・被服学科、生活環境学科・大学院)
短大 (家政科・生活文化学科)

被服科会は平成4年4月に発足しました。平成29年4月で創立25周年となります。

設立当初の主な会員資格は実践女子専門学校、大学院、大学、短期大学の被服・生活環境・生活文化系の卒業生、在学生です。当会にご入会頂いて、初めて被服科会会員となります。会員相互の文化活動、情報交換を支援し会員の資質の向上を目的としていますが、実践桜会の発展に協力することも目的の一つです。

会員は現在500余名です。会員のご協力により活発な活動（年4事業）を行っていますが、被服学科名改組、短期大学被服系分野の終了など学園状況も変化し、今後の繋がりを検討していく時期がきていると考えています。

科会長　松岡 久美子

生活文化系

実践生活文化科会

大学 (生活文化学科)

生活文化科会が発足し、約1年が経ちました。主な活動は、卒業生同士の交流と後輩支援です。これまで2回の同窓会を開催し、延べ約120名の卒業生の皆さまにご参加いただきました。今後は卒業生・在学生が交流出来る機会も設け、お互いに刺激しあえる会にと考えております。生活文化学科の同窓生、また生活文化学科に携わってくださった教職員の皆さまに、ぜひご入会いただけたら幸いです。ご入会をお待ちしております。

科会長　北村はるか

※短大 (生活文化学科・生活福祉学科) については、今後同会として活動できたらと考えています。

美学美術史系

大学 (美学美術史学科・大学院)

人間社会系

大学 (人間社会学科・現代社会学科・大学院)

上記の学科系は、まだ科会が立ち上がっておりません。実践女子学園の卒業生として、学科や年代を超え親睦を深めながら活動して行きませんか？　本部も応援いたします。

中学・高校卒業生

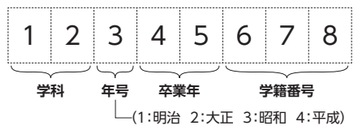
実践ときわ会

中学・高校 (高等女学校・実科高等女学校・第二高等女学校・高等学校 (定時制を含む)・中学校)

実践桜会にはもう一つ科会があります。実践女子学園中学校、高等学校を卒業した方々の会です。

科会長　古藤 黎子

会員番号 (8桁の番号) の見方



科会だより 活動方針と行事予定

詳しくは実践桜会
ホームページをご参照ください。

実践ときわ会

平成29年度ときわ会活動
■総会　6月11日（日）午前11時
　於：実践桜会会館
　総会終了後、三遊亭道楽師匠による落語口演会
■6月17日（土）渡辺美佐子さん　第2回朗読会（向田邦子さんの作品の予定）
　於：実践桜会会館
■渡辺美佐子さん観劇会　「夏の雲は忘れない」
　7月8日（土）「座・高円寺」14時
■10月 第4回初風緑さん　ストレッチの会（日時未定）
　於：実践桜会会館
■1月8日　「祝・成人の日」への協力
■「ときわ会通信」4月・10月発行
■桜会HP更新
●連絡先：090-2205-9712
（科会長　古藤 黎子）

実践技芸科会

　会員の高齢化に伴い大きな行事は取止めとなりましたが、活動の方では各手芸教室を主として毎月定期講習会を開催しています。
　会員も増え、お互いの交流の場となって楽しく過ごしています。
■定期講習会
・ハーダンガー手芸教室
　第2木曜　11:00～15:00
・染色教室（かえで会）
　第2火曜　11:00～15:00
・編物の会
　第3金曜　12:00～15:00
・日本刺繍教室（萌黄会）
　第1・3木曜　12:00～15:00
■手作り品製作（桜会バザー用）
　6月24日　11:00～15:00
■桜会バザー販売協力
■バザー当日手作り品寄贈・販売
■古切手収集
使用済古切手を集めて福祉に送っている。
●連絡先：TEL　044-861-6390
（記録　西原 操）（科会長　中岡久恵）

実践被服科会

　日野キャンパスが素晴らしい変貌を遂げ、家政学部改め生活科学部の学習環境が益々充実しました。被服科会としては大変嬉しいことです。今年の総会は、初めて生活環境学科のご協力を頂き日野キャンパスで開催致します。現在の学科紹介、学習施設、キャンパス見学等をさせて頂きます。懇親会には、日野キャンパス4年間通学の被服学科卒業生、生活環境学科平成20年までの卒業生をお誘いいたします。被服科会の存在を後輩達にしっかり伝える機会とし、繋げる努力を致します。今年度事業は以下の通りです。ご参加を通じて、母校との繋がり、会員のたての繋がりも楽しんで頂けたら嬉しく思います。

■第26回総会と懇親会
　日時：平成29年4月16日（日）
　場所：日野キャンパス新3館　332講義室
　総会　11：00～11：45
　懇親会　13：00～
■観劇会〈劇団四季「オペラ座の怪人」とランチ〉
　日時：平成29年7月7日（金）
　場所：KAAT神奈川芸術劇場（日本大通り駅）
　昼食：劇場内レストラン（開港黒カレー）
■講習会〈指輪とペンダントトップの製作〉
　日時：平成29年9月を予定
　場所：実践桜会会館
■見学会〈東京スカイツリーとすみだ北斎美術館と昼食〉
　日時：平成29年11月中旬～下旬を予定
　場所：東京スカイツリーとすみだ北斎美術館
　昼食：スカイツリータウン東京ソラマチ内「國見」
■会誌発行
「歌ごろもニュース№21」6月上旬
「歌ごろも第26号」　12月上旬
詳細についてはホームページをご覧ください。被服科会会員以外のご参加も歓迎致します。
●連絡先：TEL＆FAX　03-3721-9378
（科会長　松岡 久美子）

実践家政科会

平成29年度行事
■1月25日（水）：新年会
　於・ハイアットリージェンシー東京
■4月12日（水）：バス見学会、横須賀方面
　軍港めぐり・三笠艦・猿島・昼食「やまに」
■5月20日（土）：「家政科会たより29号」発行
■5月28日（日）：家政科会総会
　於・ホテルニューオータニ
　・講演、鹿嶋敬先生「男女共同参画―その2」
　・挨拶　田島眞先生
　・クラシックコンサート
■8月27日（日）：フランス料理講習会
　於・ラジュネ代官山
■9月27日（水）：福祉施設用作業用エプロン縫製　於・桜会館
■10月上旬：観劇会
　三越劇場「ペコロスの母に会いに行く」
■12月15日：1円玉募金より
　「歳末助け合い支援」
■平成30年1月24日（水）：新年会
　於・ハイアットリージェンシー東京
●連絡先：TEL＆FAX　045-571-0213
（科会長　熊切 冨子）

実践国文科会

　実践国文科会は昭和50年に誕生し、翌51年会報誌「りんどう」を創刊しました。会員の皆様をはじめ多くの方にご協力を頂き、創刊号から数え今年は42号を発行いたします。
　国文科会平成29年度年間行事は下記の通りです。会員に限らずご参加できます。ご希望の方は国文科会へご連絡ください。
■総会4月22日（土）13:00 ～
　於：実践桜会会館
■記念講演会（総会後）14:30 ～
　講演と演奏「平安の笛の世界」
　雅楽演奏家　笹本武志氏
　国内外で活躍 正倉院収蔵管楽器のトッププレイヤー
　参加型講演会です。
■寄り道文学散歩 6月3日（土）
「小田原文学館見学」有形文化財、昭和初期のモダニズム建築
　北村透谷、尾崎一雄 他、ゆかりの作家資料展示
■会誌「りんどう」発送7月
■一葉祭　11月23日（木）
　於：東京都台東区立「一葉記念館」
■能・狂言鑑賞会　平成30年1月30日（土）
　演目「土蜘蛛」　於：国立能楽堂
■新年会　平成30年1月28日（日）
　※なお、詳細については「りんどう」又はホームページをご覧ください。
●連絡先：実践桜会　実践国文科会
（科会長　若松 幸子）

実践英文科会

　平成28年度は、3年ぶりに秋のバス見学会を開催しました。他科会からの参加もいただきました。また1月の新年会は、東京駅ステーションホテルのフランス料理“ブランルージュ”で開催いたしました。
　平成29年度の活動予定は、下記の通りです。皆様の益々のご協力、ご支援を宜しくお願い致します。
■総会：6月4日（日）
■講演会：（総会後）13：00～15：00
　講師：井口佳子氏（大英43卒）
　テーマ：未定
　会場：実践桜会会館　1Fホール
■「英文科会だより」2017　発行9月下旬
■見学会：10月下旬～11月上旬
■新年会：平成30年1月
■常設勉強会：於　実践桜会会館
　輪読会A：第2・4金曜日10：30～12：30
　輪読会B：第1・3金曜日10：30～12：30
●連絡先：TEL＆FAX　045-862-3744
（科会長　山内 典子）

実践生活文化科会

　今年度は9月9日（土）に同窓会を開催予定です。詳細はメールやFacebookでご案内いたします。科会からのご案内がない場合、以下にご連絡をお願い申し上げます。今後一人でも多くの同窓生の皆様に、イベントや科会誌のお知らせをいたしたく存じます。これまで同窓会や科会誌発行に際し、ご連絡先不明の同窓生が多数いらっしゃいます。ぜひお友達にお声がけいただき、科会へご連絡をお願い申し上げます。
●連絡先：jj.seibun.og@gmail.com
（科会長　北村 はるか）

120周年に向かって　今こそ振り返り未来へ向かって伝統のバトンをつなぎましょう

下田歌子音楽劇
ことほぎ コトホギ Kotohogi ～見目麗しき花の如く

関　登実子

常磐の松に誘われて　見上げた緑爽やかに　澄み切った空　白い雲　やわらかな風いざ　八島に希望を抱き　今実践の時　羽ばたく時　見目麗しき乙女らの　香りただよう　・・姿。

　客席最前列センターにて眺めている女性（下田歌子）にスポット！で始まる音楽劇。これは、元学長の飯塚幸子先生の「能力ある卒業生の力を借りて、学園をPRするものがつくれないかしら！」と本学卒業生の初風緑さんの「学園には伝統を受け継ぐバトンのかたちが薄れているのでは、今なら間に合うと思います。伝統をかたちとして心を伝えるものが必要です。」というお二人のお話に続き、「卒業生の力で何かをせよ」と下田先生の囁きが聞こえ始めました。平成27・28年度東京私学教育研究所の研究協力学校として、「感性表現手法育成のプログラム開発」という題目で助成を受け、教科の枠を越えてのこころの研究です。学園の創立120周年を記念した音楽劇を発表することを目標に。ダンス部・演劇部・合唱部にワークショップを実施し、感性を表現する手法を提案,検証しました。指導者としてまた脚本、構成、演出を担当された初風緑さんは、「生徒には『女子の修養』の朗読から、下田歌子先生の教えを学び、学園の誇りと伝統を受け継ぐ心を養い、笑顔と信頼あふれる学園への活性力を期待しました。次は、恵那と心をつなぐ何かを創るための構想を練っています。」と情熱をこめて語っています。

※題名のことほぎは、実践女子学園の過去・現在・未来を表わしています。
※中学一年生の朝の読書で使用している「現代語訳　女子の修養」は学内の小川書店で扱っております。

実践キャリアネット

実践キャリアネットは「仕事」「働く」をキーワードとした同窓生のネットワークです。世代・学部を超えた仲間との異業種交流、キャリアアップの為のセミナー開催、在校生支援、卒業生就職・転職相談などの活動を行っています。卒業生であればどなたでも入会できます。セミナー、講演会は「仕事」経験の有る方は勿論、無い方でも大歓迎です。入会をお待ちしております。

【2016年度の活動レポート】

総会・講演会
6月18日（土）桜会会館ホール
総会後の講演会は卒業生で現在野村證券立川支店支店長戸崎史絵氏に「女性のためのマネーライフプラン 女性の生き方・働き方～何が変わって何が課題か」と題し、お話を伺いました。

特別企画セミナー開催
9月17日（土）桜会会館ホール
「男女共同参画～女性の活躍推進」と題し、元実践女子大学人間社会学部教授で現在一般財団法人女性労働協会会長鹿嶋敬氏の講演を開催いたしました。

第1回セミナー開催
11月19日（土）桜会会館ホール
アラサー世代の卒業生にお話していただくシンポジウム形式で行いました。「30代の壁～どう乗り越えますか？～」現役の学生の方々もご参加くださり、実りの多いセミナーでした。

第2回セミナー開催
1月21日（土）桜会会館ホール

女性下着のトップメーカー、ワコールのセミナー担当者による、下着についての普段聞くことの出来ないお話を伺いました。

【平成29年度の活動予定】

■平成29年6月17日（土）
　総会・講演会
■平成29年9月30日（土）
　秋の会員交流会
■平成29年11月18日（土）
　第1回セミナー
■平成30年1月20日（土）
　第2回セミナー＆新年会
■平成30年2月
　卒業生と在校生との交流会
　～OG懇談会～（渋谷＆日野）
■毎月第3土曜日
　キャリアネット運営委員会
■「卒業生のための仕事についての何でも相談会」は随時受付けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

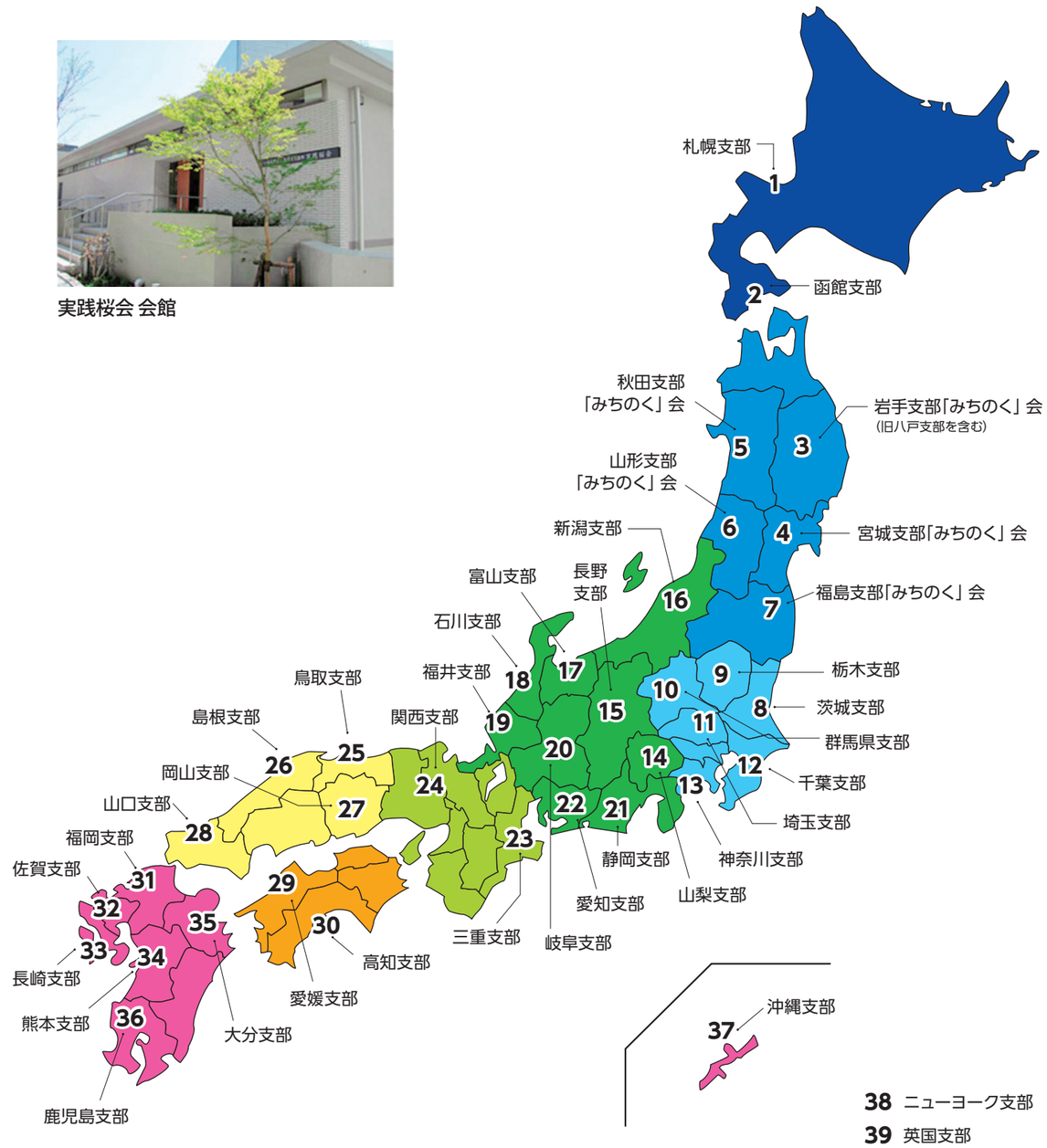
【入会方法】

入会申込はいつでも受け付けております。
桜会事務局（月～土 9：30～17：00　日曜・祝日を除く）
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
※HPからも申込ができます。
　http://www.j-sakura.org
年会費：2,000円（入会金は不要）
振込先：みずほ銀行 渋谷中央支店
　普通 1748354

実践桜会　支部のご案内

　ご存知でしょうか？　今から116年前の1901（明治33）年、実践女子学園の母体となった女子工芸学校は第1期卒業生8名を社会に送り出しました。これが桜同窓会（現実践桜会）の始まりです。現在、約65,000人におよぶ会員が国内外におります。

実践桜会 会館



　実践桜会には国内37支部・海外2支部があり、それぞれ独自の活動をしております。

　卒業して出身地に戻られた方や転勤や結婚で他県に移られた方が、それぞれの地域で母校の同窓生との新たな繋がりを持ち、人生の先輩の知恵や地域の情報を知る機会となっております。

　支部への入会などのご希望については、実践桜会の事務局にお問合せ下さい。その際、ご氏名・卒業年度・所属学科等をお伝えください。

[お問合せ] 実践桜会事務局
TEL 03-3407-7459

　尚、実践桜会のHPの支部ページには各支部の活動や年間の行事予定などが載っております。

　是非、ご覧ください。

※支部長リストは平成29年3月現在のものです。支部によっては支部長が新年度に交代する場合もございます。詳細については上記実践桜会にお問合せください。

支部長リスト

	支部名	支部長名	所属卒年	会費
1	札幌	岩本　郁子	昭和33年大食卒	1200
2	函館	宮村　智子	平成1年大国卒	1000
3	岩手	吉清水　裕子	昭和49年大国卒	1000
4	宮城	渡辺　恭子	昭和39年大国卒	1000
5	秋田	境田　幸子	昭和48年大被卒	1000
6	山形	相原　陽子	昭和38年大国卒	1000
7	福島	山田　厚子	昭和49年大被卒	1000
8	茨城	久保田　節子	昭和40年短英卒	2000
9	栃木	池島　敬子	昭和49年大英卒	2000
10	群馬県	茂木　初枝	昭和45年大被卒	2000
11	埼玉	小河原　俊子	平成4年院食修	1000
12	千葉	出家　成子	昭和47年大被卒	1000
13	神奈川	守田　由紀子	昭和48年大英卒	2000
14	山梨	大島　節子	昭和47年短栄卒	1000
15	長野	矢ケ崎　邦子	昭和32年短生卒	1500
16	新潟	寺澤　昭子	昭和41年大食卒	1000
17	富山	山本　順子	昭和33年短被卒	1000
18	石川	紙谷　玲子	昭和42年短英卒	2000
19	福井	谷　　洋子	昭和42年大食卒	1000
20	岐阜	伊藤　敬子	昭和41年大食卒	0
21	静岡	鏡島　眞理子	昭和52年大被卒	0
22	愛知	神谷　洋子	昭和47年大食卒	0
23	三重	竹腰　葵	昭和44年大英卒	1000
24	関西	並川　みき子	昭和45年大国卒	2000
25	鳥取	常田　明美	昭和41年大食卒	0
26	島根	大谷　香代子	昭和49年大国卒	1000
27	岡山	谷本　淑恵	昭和54年大英卒	500
28	山口	根ケ山　祥子	昭和61年大被卒	500
29	愛媛	城徳　かをる	昭和41年短生卒	0
30	高知	青木　京子	昭和49年大国卒	未定
31	福岡	玉井　由紀子	平成3年院被修	2000
32	佐賀	藤山　たか子	昭和49年大食管卒	2000
33	長崎	山脇　美代	昭和55年大院食修	1500
34	熊本	瀬口　敬代	昭和59年短英卒	未定
35	大分	清水　登美子	昭和50年大国卒	0
36	鹿児島	山口　圭子	昭和57年大食管卒	3000
37	沖縄	島袋　節子	昭和41年短生卒	1000
38	ニューヨーク	Miyako Hosoda Weldon	昭和61年短生文卒	0
39	英国	松嶋　みどり	昭和49年大被卒	0

　平成17年、八戸(岩手支部に併合）・岩手・宮城・秋田・山形・福島の東北6県の支部長が集まり、東北ブロックとして本部を仙台に置き支部活動の相互の連携を深める事を目的として作られています。

地域交流レポート

今回は平成15年創立以来、「会員の会員による会員のための支部」をモットーに積極的な活動を行っておられる千葉支部に伺いました。

冬晴れの12月8日、船橋の西武デパート、カーサグランデに於いて
支部役員8名の内6名の御参加がありました。

●支部長 出家 成子（昭和47年／大被卒）　●行事 伊藤 栄子（昭和45年／大英卒）
●総務 高野 サトル（昭和32年／短生卒）　●広報・会計 東 由美（昭和47年／大被卒）
●総務 蓮尾 和世（昭和34年／大食卒）　●会計監査 山田 幸子（昭和47年／大被卒）

御欠席役員
●会計監査 内藤 道（昭和62年／大食管卒）　●名簿 栗山 由美子（平成2年／大英卒）

千葉支部は平成15年11月に誕生しました。昭和47年大学の被服科を卒業された出家さん・東さん・山田さんのお三方が中心になって立ち上げられました。そのきっかけは元学長・飯塚幸子先生からの大いなる励ましを受けての事でした。なんといっても千葉県は関東の中でも地域が広く在住する卒業生の人数も多く、発起人の方々のご苦労は並大抵ではなかったと思います。

支部活動の具体的な活動としては、**1. ミニ同窓会　2. ネットワーク活動　3. 社会活動　4. 会報誌：ミルフィーユ　5. 総会**が中心となっています。

■ 1. ミニ同窓会

実践桜会千葉支部
君津・木更津ミニ同窓会へのお誘い
11月10日（木）
久留里線に乗って久留里城へ

久留里城は室町時代に上総武田氏の武田信長によって築かれた山城（古久留里城）で、以降は信長の子孫である真里谷氏が支配した。戦国時代には真里谷氏は衰え、代わって里見氏の拠る所となり、里見氏によって再構築され（新久留里城）、佐貫城と共に対北条氏の最前線を担った。その後、江戸時代には久留里藩の藩庁として再整備され、酒井氏の加増地となった17世紀末から18世紀半ばを除いて、近世城郭として明治維新まで維持された。

水がおいしいよ!!
日本酒がおいしいよ!!

城下町として栄えた久留里のまちで昔から生活に密着してきた「久留里の水」は、上総掘りの自噴井戸による地下水です。飲料用を中心に約200本の井戸が確認されています。地元の観光協会を中心に水質検査等を行い、安全安心な水として保全活動に力を入れています。平成20年6月に、千葉県下では唯一「平成の名水百選」に選ばれました。

君津・木更津ミニ同窓会は房総半島の内房の君津市・富津市・木更津市・袖ケ浦市の地域にネットワークを作ることを目的としたものです。上記のお所にお住まいの方は是非ご出席下さい。また、上記のお所以外の方もお友達をお誘いの上ご参加をお待ちしております。
集合場所は1、木更津駅（久留里線）9：16発の電車の中　2、久留里城入り口の二ヶ所です。申込の際集合場所をお聞かせ下さい。お食事処は当日のお楽しみに!!　会費は当日集金致します。

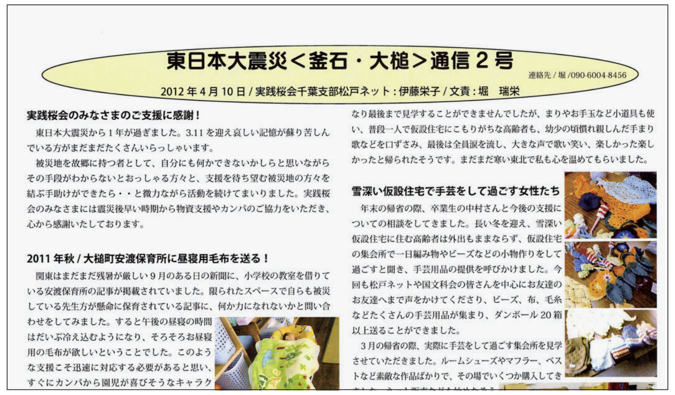
・電車利用：（行き）JR快速館山行き　船橋発8:23→千葉発（快速）8：38　→　木更津着9：08
木更津駅からガイドがつきます　木更津発（久留里線）9：16→久留里着10:03
（帰り）久留里発（久留里線）14：43→木更津着15:32
木更津発（JR内房快速久里浜行き）15：45→千葉着16：28→船橋着16:47
・高速カピーナ号バス利用：（行き）千葉駅前バス停（乗り場：昔のそごうの前あたり）9：05出発→　久留里駅着10：13
→　久留里城三の丸跡10:15（久留里駅から久留里城まで徒歩で30分はかかるので、バス利用者はお城で下車してください）

○　参加申込先　伊藤：047-343-3750　/高野：047-447-0041　/蓮尾：047-466-1996　/各ネットの世話人
君津・木更津方面　石井喜美代:0439-52-0155○ 申込〆切：第1回〆切日:10月10日（最終〆切日11月1日）

「一生涯豊かに生きてゆくためのネットワークづくり」の実現のために当初から活発な議論が行われ、まず、地域でのコミュニケーションの緊密さと学び続ける事の大切さを考えて、世話人の方々のご尽力で各地での集まりが始まりました。4か所から始まった集まりが、野田・流山、佐原、八日市場、柏、君津・木更津、匝瑳とその範囲を広げています。「わざわざ遠方に出かけるのは気が進まないけれど近くのミニ同窓会なら参加してみたい」と思われる方もあり、そこから新たな出会いと繋がりが生まれてゆきます。卒業生によるお茶会への参加、ご病気の先輩のお見舞い、介護問題の共有、地域の情報交換等々と繋がりが広がり地域外の方も楽しく参加されているそうです。その開催のお知らせのチラシがとても丁寧で行ってみたい気持ちをくすぐられますし、世話人の皆様方の熱意と企画力を感じます。

■ 2. ネットワーク活動

ミニ同窓会が定着してゆくことでさらに横のつながりが生まれ現在、NIFU、松戸・鎌ケ谷、柏プラス、野田、ちば、佐倉・四街道・酒々井・八千代、香取、市原、匝瑳、銚子、君津・木更津の11か所のネットワークが展開しています。各地域で同窓生の集まりが催され、美術館見学、昼食会、ボーリング大会など種々多彩、更に各地域の歴史探訪であったり、郷土の偉人の足跡を学ぶ機会ともなっています。



東日本大震災<釜石・大槌>通信2号
連絡先/堀/090-6004-8456
2012年4月10日/実践桜会千葉支部松戸ネット：伊藤栄子/文責：堀　瑞栄

実践桜会のみなさまのご支援に感謝！
東日本大震災から1年が過ぎました。3.11を迎え哀しい記憶が蘇り苦しんでいる方がまだまだたくさんいらっしゃいます。
被災地を故郷に持つ者として、自分にも何かできないかしらと思いながらその手段がわからないとおっしゃる方々と、支援を待ち望む被災地の方々を結ぶ手助けができたら・・と微力ながら活動を続けてまいりました。実践桜会のみなさまには震災後早い時期から物資支援やカンパのご協力をいただき、心から感謝いたしております。

2011年秋/大槌町安渡保育所に昼寝用毛布を送る！
関東はまだまだ残暑が厳しい9月のある日の新聞に、小学校の教室を借りている安渡保育所の記事が掲載されていました。限られたスペースで自らも被災している先生方が懸命に保育されている記事に、何か力になれないかと問い合わせをしてみました。すると午後の昼寝の時間はだいぶ冷え込むようになり、そろそろお昼寝用の毛布が欲しいということでした。このような支援こそ迅速に対応する必要があると思い、すぐにカンパから園児が喜びそうなキャラク

なり最後まで見学することができませんでしたが、まりやお手玉など小道具も使い、普段一人で仮設住宅にこもりがちな高齢者も、幼少の頃慣れ親しんだ手まり歌などを口ずさみ、最後は全員涙を流し、大きな声で歌い笑い、楽しかった楽しかったと帰られたそうです。まだまだ寒い東北で私も心を温めてもらいました。

雪深い仮設住宅で手芸をして過ごす女性たち
年末の帰省の際、卒業生の中村さんと今後の支援についての相談をしてきました。長い冬を迎え、雪深い仮設住宅に住む高齢者は外出もままならず、仮設住宅の集会所で一日編み物やビーズなどの小物作りをして過ごすと聞き、手芸用品の提供を呼びかけました。今回も松戸ネットや国文科会の皆さんを中心にお友達のお友達へまで声をかけてくださり、ビーズ、布、毛糸などたくさんの手芸用品が集まり、ダンボール20箱以上送ることができました。
3月の帰省の際、実際に手芸をして過ごす集会所を見学させていただきました。ルームシューズやマフラー、ベストなど素敵な作品ばかりで、その場でいくつか購入してき

2011年の東日本大震災では千葉県も被害にあいましたが、その中で松戸ネットワークは、震災直後の6月より5年間、釜石・大槌への支援を続けられました。会員の中にご実家が釜石で、そのボランティア活動の中で大槌の避難所で被災された実践の同窓生（大国卒）と出会ったことから松戸ネット独自の支援が始まりました。変化してゆく被災地の様相にきめ細かく対応されてゆく支援の様子が、<釜石・大槌>通信で詳細に記されています。

その活動の延長線上に実践桜会のバザー参加もありました。手芸材料の支援を行い、大槌の皆さんがそれを手芸品に作られて販売する。昨年はさらに千葉支部会員に声掛けして箪笥に眠っている帯を提供してもらい、皆さんでその帯地で兜を作ったり、エプロン製作で出た残り布でティッシュペーパーカバーを作って参加しました。この活動は千葉支部会員のみならず、国文科会・埼玉支部の応援を得ることにも繋がりボランティアの意義を多くの方々に考えて頂くきっかけとなっています。

■ 3. 社会活動

千葉支部は社会貢献を大切にしています。立ち上げ当初から実践の留学生との交流を10年続けられました。その内容は、佐倉の国立歴史民俗博物館の見学を通して日本の歴史に触れる催しや留学生に振袖を着る体験をしてもらい、更にお茶会にも参加して日本の伝統の一端に触れてもらう催しなどです。

新しいユニフォーム

旧ユニフォーム

留学生からは日本文化に直に触れる機会として好評を得たのは勿論の事ですが、留学生との係わりを持った実践の学生達にとっても身近に留学生の存在を感じるきっかけとなりました。また、晴れ着の着付けに協力をされた会員の方や引率のお手伝いを引き受けて下さった方にとっても貴重な体験となりました。

最近では、船橋の福祉作業所が運営する「コミュニティカフェひなたぼっこ」のユニフォームを制作されました。何度も作業所の方々との打ち合わせを重ねて、デザインから縫製まですべて支部の会員の皆さんのご協力でつくられました。デザインはとてもおしゃれで、その上従来のエプロンよりも着脱が楽に出来る事、そして、一人一人の体形に合っていることで動きやすいと好評を得ています。

また、新たな社会活動は、若手の音楽家に活動の場を提供するというものです。
総会において東京音楽大学の学生によるコンサートを開いています。プログラムの内容も豊かで、クラッシックのみならず耳馴染みのあるポピュラーも組み込まれていて若い演奏家達の意気込みを感じます。

■ 4. 会報誌：ミルフィーユ

フランス語でmille feuilles。たくさんの葉が一枚一枚何層にも重なり合いハーモニーを醸して大きな力になるように、母校の発展および社会活動に寄与してゆけるのではという思いで命名された会報誌です。年3回発行され、その内容は豊富です。ミニ同窓会や各ネットワークの行事の予告や活動報告は勿論の事、「投稿しましょう　そして繋がりましょう」では、会員の皆様からの様々な投稿が寄せられています。

新聞の戦後70年の特集記事の中から、戦争で卒業するはずの小学校から還暦になって修了証書を受け取ったという記事を投稿された82歳の会員の思い。

ミルフィーユ 35号
2016年度予定

昭和20年9月の実践の校舎（窓ガラスは割れて屋根もなく空が見通せる）の前で生徒達がバレーボールに興じる写真や昭和22年の卒業アルバムに卒業証書なども寄せられて、時代の様子を知る手がかりとなります。　更に、戦後、学生寮も焼けて通学も困難を極めた時期に先生が自宅を寮として学生を受け入れて下さり、勉学を続けることが出来たといった今では想像も出来ない体験談、渋谷や日野の今昔を語られる記事等が寄せられて、いづれも卒業生各々の過ごしてきた時代が見えてきます。

また、総会や同窓会には出かけられないけれどミルフィーユを通して同窓生との繋がりを感じていますといったお手紙などがあり、会報誌が一方通行ではなく、相互通行の懸け橋となっていることを実感しました。

■ 5. 総会

年一回の総会は、毎回、大学の様々な学科の先生や卒業生による講演会が行われます。学祖下田先生の偉業や母校の歴史を学ぶ機会を得たり、講演者による専門分野の貴重な講義を聞く時間を持たれており、近年は前述のコンサートもあります。

他にも、2013年に幸谷ふれあいホールで行われた飯塚幸子先生による談話会「**実践女子学園と清国留学生**」を録音テープから文章に起こし直し小冊子を作りました。下田先生の清国との係わりや留学生を受け入れる経緯などが詳細にまとめられてます。また、支部創立5年目には「**5年のあゆみ**」という記念誌を作られ会員の皆様の千葉支部へ寄せる思いが纏められています。更に創立10年目にはミルフィーユ特別号として10年のあゆみも作られました。

バイタリティーあふれる皆様のお話を伺う中で、やはり支部活動としての問題点も語っていただきました。

会員を増やすための努力として更なるネットワークを開拓し続けておられるのですが、現在11か所のネットワークの内3か所が休眠状態にあり、会員や世話人に過度な負担がかからないやり方を探しておられます。また、若い世代の同窓生が参加できるような活動内容を今まで以上に考えていかなければと言われます。これらの問題は千葉支部のみならず、いずれの支部にとっても悩みの種となっております。

千葉支部のみなさんからは、桜会との連携をより緊密にして支部の問題を桜会全体として考えてほしいとのご要望がありました。例えば近隣支部同士の交流や桜会からのヒアリング、桜会総会の折の支部長同士の交流時間の充実といったご提案です。更にHPの卒業生の活動紹介を幅広く活用できるようにしてほしいとのご希望を頂きました。

貴重なご意見ご要望を真摯に受け止めて今後に生かしてまいりたいと存じます。

千葉支部の皆様がしっかりと活動の意義を考え、会全体の在りようを意識し、協力し合っておられることが、インタビューを通してとても強く伝わってまいりました。

ご参加いただいた千葉支部役員の皆様に心から御礼申し上げます。

（広報部）

出家さん

伊藤さん

高野さん

蓮尾さん

東さん

山田さん

札幌支部
岩本 郁子
(昭和37年／大食卒)

平成28年度活動報告

「健康づくり講演会」と題して、今年で3回目となる平成28年度の社会活動は、お借りする会場の都合で11月12日（土）開催となりました。

北海道の秋は、11月ともなると寒さも本格的になり、越冬の準備も忙しく参加して下さる方々の数も気になりましたが、結果は昨年よりは少なかったのですが50名近くの方が足を運んで下さいました。主催者側としては少々寂しい思いをいたしましたが、流石に集まって下さった方々は日ごろから食と健康に関心をお持ちの方々で、熱心に講師の話を聴いて下さいました。

今回も講師は管理栄養士（元旭川日赤病院管理栄養課長）の佐々木智子氏（大食営S51卒）にお願いをし、サブタイトル「食事で伸ばそう健康寿命」と題してお話していただきました。

具体的な調理例を離れ、大きな栄養学としての流れの中でのお話は、我々にも興味深く、講演後のアンケートにも食事の大切さを再認識したとの声が寄せられました。ファイトケミカル、サルコペニアなど新しい話題を交え、認知症予防のためのゲームで体を動かしたり、講演内容の総仕上げにクイズで確認出来たことも含め、大好評裏に終了いたしました。

函館支部
宮村 智子
(平成元年／大国卒)

平成28年度活動報告

平成28年度の支部会は、10月22日に函館国際ホテルにおいて開かれました。S25年卒業の大先輩からH10年卒の若い方まで9名が集い、和やかで楽しい一時を過ごしました。

昨年は北海道新幹線が開通し、東京-函館館が陸路4時間で結ばれることになった嬉しい年でしたが、飛行機が未就航だった時代に大学生活を送られた先輩方にお話を伺うと、上京の際は青函連絡船と列車を乗り継いでの10数時間の長旅だったとのことで、改めて東京との距離に思いを馳せました。

函館支部は発足から60年余年経ち、過去にはカルタ会や料理講習会などの活発な交流がなされていたとのことで、世代を超えた実践同窓生どうしの強い絆を感じます。この度、支部長が交代いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮城県支部
渡辺 恭子
(昭和39年／大国卒)

平成28年度活動報告

平成28年9月26・27日、宮城県支部会員のシャンソン歌手 貝山幸子さんのコンサートが仙台市若林区の「能BOX」で開催され、華麗な衣装の幸子さんが20曲以上を歌い上げ見事な舞台となりました。

宮城県支部でも、昼夜3回に亘る舞台を多数の会員が楽しみました。

平成29年度活動予定

支部長交代を予定しているため、次期支部長に委任しています。

群馬県支部
茂木 初枝
(昭和45年／大被卒)

平成28年度活動報告

秋の行事は、郷土の詩人萩原朔太郎の生誕130年という事で、前橋市敷島公園の一角にある、朔太郎の愛した風景と詩情を凝縮したフレンチレストランと人気のお店「朔詩舎」において昼食会を行いました。役員以外の会員さんも参加されゆっくりお食事をしながら、楽しくお話をする事ができました。

食後は、公園内にあるバラ園を散策しました。秋の日差しの中に咲く薔薇は又美しく見えました。感激しながら、大きな松の木の林の中を歩き朔太郎邸へ。残念でしたが、数日後市内に移築するため、外観のみの見学でした。

秋晴れの青空のもと、年齢も年の差も忘れた心温まる一日でした。

埼玉支部
小河原 俊子
(平成4年／院食卒)

平成28年度活動報告

埼玉支部では、総会のほかに「彩の国めぐり」を行っております。地元埼玉の歴史と文化を理解し、会員相互の交流を深めるために考え行ったものです。

28年度は10月5日深谷駅集合深谷地域の「平家物語」の史跡を訪ねました。

心配していた台風はそれ、研修会日和となり地元講師の小林敏男先生のご説明が素晴らしく時の経つのも忘れたほどでした。清心寺の平忠度墓・普済寺の忠度歌碑・岡部六弥太忠澄夫妻像・六弥太墓・満福寺・畠山重忠史跡公園の重忠像・重忠墓等面影を偲び、風光を楽しむ一日となりました。これからもこの様な機会が多く持て、皆様との交流が深まることを希望いたします。参加お待ちしています。

平成29年度活動予定

4月中旬　埼玉支部役員会・講習会・反省会・会計監査
6月24日　第21回支部総会　公開講演会・懇親会
　さいたま市 埼玉会館 2Fラウンジ
10月初旬　彩の国めぐり見学　研修会
平成30年1月　新年会
　3月　実技研修会

千葉支部
出家 成子
(昭和47年／大被卒)

平成28年度活動報告

「里山風景の久留里」

11月に君津市の内陸部に位置する久留里でミニ同窓会を開催、「君津・木更津・袖ヶ浦ネットワーク」が誕生致しました。

当日は城下町・久留里の町並みを散策、久留里城に向かう道の斜面に、「笹りんどう」を見つけました。学祖下田歌子先生の御印ですね。久留里城の眼下には、所々紅葉に染まった木々が色を添え、唱歌「ふるさと」の歌詞を思い起させてくれる里山風景でした。

現在千葉支部のネットワークは11ヶ所に展開し、各ネットを結ぶと房総半島を一巡したことになります。各ネットワークは地域にお住いの同窓生の集いの場です。千

葉県在住のみなさま、お気軽にご参加ください。今年度のネット親睦会は東葛地域、千葉近辺地域で開く予定です。

平成29年度活動予定

・4月16日（日）第14回千葉支部総会
　京成ミラマーレホテルにて
・9月ごろ
　東葛地域におけるネット親睦会
・11月ごろ
　千葉近辺地域におけるネット親睦会

神奈川支部
守田 由紀子
(昭和48年／大英卒)

平成29年度活動予定

「小田原支部実り会」（昭和38年に発会）が、昨年6月5日（日）の発会式にて「神奈川支部」へと生まれ変わりました。

発会後の初めてのイベントとして、今年の4月上旬には発祥の地である「小田原周辺の探索」を予定しています。先日、役員で「平成28年平成大改修」を終えた「新小田原城」での夜の魅力を発信する一夜限りのイベントに行ってきました。“小田原「灯（あかり）の陣」蘇る！！、石垣山一夜城”のイベントでした。天守閣から石橋山を臨むと「一夜城」が闇の中にぽっかりと浮かび上がり、北条氏が見たであろう「伝説の城郭」が戦国の時を超えて、今に蘇って来ました。

幻想的な光のオブジェの出現に感動いたしました。4月上旬の春の季節も、見所満載の歴史の街「小田原城下町」が楽しめます。どうぞ、ご期待ください。

次回の総会は、7月2日（日）11：30～「グランドホテル神奈中平塚」です。神奈川在住の新旧卒業生の皆様のたくさんのご参加をお待ちしています。

長野支部
矢ヶ崎 邦子
(昭和32年／短大生卒)

平成28年度活動報告

長野支部は、1980年10月に長野市で結成総会が開かれ発足し、以来、同窓生の暖かい交流が続き、早37年の月日が流れました。毎年10月第1日曜日に総会が開かれます。

平成28年度は、「松本東急REIホテル」で開かれ、議事のあとの公開音楽会では、“楽団ケ・セラ”の演奏に感動致しました。

長野支部は3つのブロック（北東信、中信、南信）でもそれぞれの活動をして親睦を深めております。支部・ブロックの役員の任期は原則として2年で、平成29年4月からの長野支部長は、塚田倭文子さん（昭和45年・大被卒）です。

皆様、今年もお誘い合わせて同窓会へご参加ください。お待ちしております。

新潟支部
寺澤 昭子
(昭和41年／大食卒)

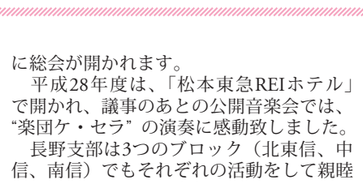
平成28年度活動報告

「ドナルド・キーン氏 特別講演会の聴講」

昨年から準備して、9月19日に支部の社会活動を実施することができました。同窓会員と一般参加の参加者が総勢61名でした。なかでも東京から本部役員の皆さまが18名もおいで頂き、私たちは本当に感謝しています。

講演会は「石川啄木の日記を読む」と題して、明治大学大学院教授の池田功氏の基調講演と「石川啄木―最初の現代人」についてのキーン氏と池田氏の対談でした。テーマは啄木の日記論であり、啄木という人間論でした。時にユーモアを交えて、トツトツとお話になる姿に聴衆は、その暖かく謙虚なお人柄に引き込まれていったと思います。

対談後、柏崎市内のボランティアによる啄木作詞の詩「春まだ浅く」が披露され、キーン氏の愛唱歌「荒城の月」を会場と一体となって歌うというサプライズで終了しました。



富山支部
山本 順子
(昭和33年／短大被卒)

富山からご挨拶

富山は北陸新幹線が開通いたしましてからは、太平洋側・日本海側という長い間の意識がだんだんと変わってきました。今冬の雪も変わりました。

富山支部も時代に合った活動が求められる時です。

若い会員の皆様方に活動をお願いして、本年度は春に役員会を開き支部活動へと動き出したいと思います。

愛知支部
神谷 洋子
(昭和47年／大食卒)

平成28年度活動報告（岐阜支部合同）

11月25日（金）名古屋能楽堂の食事処 大森で10名で「若葉会」を開催しました。食事をしながら、近況報告や学生時代の話など会話がはずみました。

また、実践桜会の総会の様子やホームページのアドレスについて、報告しました。（年配の方々が多くパソコンの扱いに不慣れで、支部活動が報告できません。）

名古屋能楽堂を見学したあと、名古屋城で公開している本丸御殿とショプミュージアム天守閣を見学しました。名古屋城は、蓬左城、鶴ヶ城、亀尾城、柳ヶ城などの別名があり、蓬左城が特に使用されておりました。蓬左とは、以前熱田神宮を蓬莱宮と称しそれに向かって左側、すなわち北一帯の熱田から名古屋城のある辺りにかけての地域を呼んでおりました。

名古屋城は、家康が九男・義直のために天下普請によって計画し、慶長17年に築城。その南側に基盤割に作った城下町が今の名古屋の原型です。

日本の三名城にも数えられた勇壮な城は、昭和20年の名古屋大空襲によってほぼ焼失。その後市民の願いが募り、昭和34年に天守が再建されました。

“金の鯱について”

空想上の生き物「鯱」は、水を呼ぶといわれ火除けのまじないとして屋根に乗せられています。名古屋城の金鯱は徳川の権力の象徴として、慶長大判1940枚分の金が貼られています。（食事処 大森より）

平成29年度は、岐阜支部が担当します。

鳥取支部
常田 明美
(昭和41年／大食卒)

平成28年度活動報告

10月26日（水）・27日（木）に東京に視察研修にまいりました。10月26日鳥取空港第1便にて羽田空港到着。東京駅発はとバスにて東京3名所とクルージングに参加し、皇居前散策、東京タワー、浅草そして東京湾で昼食しながらクルージングと楽しい一日を過ごしました。

翌日10月27日、バザー前で役員全員がお揃いの中、鈴掛理事長様、役員の方には大変な歓待を受け、新設された実践女子大学のカラフルで心地よい大学校舎をご案内いただきました。実践桜会の本部会館もしっかり見せていただきました。

平成29年度活動予定

実践女子大学卒業の新潟県柏崎のブルボンの社長ご夫妻をはじめ関係者がご尽力され、3年前にオープンしたドナルド・キーン・センター柏崎と小泉元首相の発言で話題になった米百俵の長岡に9月中旬視察研修に行く予定です。

高知支部　青木 京子
（昭和49年／大国卒）

平成28年度活動報告

9月1日に、会計を担当している若手のご苦労により「実践桜会高知支部会報」第一号を発行することができました。

また、発足時にいたしました高知在住の同窓生の掘り起こしを、念のため再度したところ10名の新たな方々と連絡がとれましたので、合計30名程の方々に会報をお送りすることができました。

平成29年度活動予定

5月20日（土）には、年一度の定例会を予定しています。多くの方々の参加がありますよう願っています。

福岡支部　玉井 由起子
（平成3年／院被修卒）

平成28年度活動報告

平成28年度福岡支部総会・研修会は、「博多の食文化 ～博多老舗料亭 “割烹よし田” 50年の歴史を通して～」と題し、12月10日に開催しました。

3年前の福岡支部発足以来、「日本の伝統文化に触れる」をテーマに研修会を実施して参りましたが、今年度は食を題材として取り上げ、特に地元である博多の郷土料理を中心とした内容であったためか、講演終了後も、食物科ご卒業の会員の方々から多く質問をいただき、予定時間を超えての研修会となりました。

来年度も、会員のみなさまにご興味を持っていただけるような研修会を開催できるよう、役員一同すでに準備を始めております。また、お一人でも多くの会員のみなさまに参加していただけること、卒業生以外の方々にも実践女子大学を知っていただけることを目標に、支部活動に取り組んでいきたいと思っております。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

熊本支部　瀬口 敬代
（昭和59年／短英卒）

新支部長になって

この度乙丸支部長の後任として、支部長を拝命いたしました瀬口と申します。

私ではとてもお役不足だと躊躇する反面、卒業後時間が過ぎるにつれ、母校や同窓生への思いも一入、何かお役に立てればという思いも湧き、できる事からやってみようという気持ちになりこの大役を引き受けるに至りました。

わからない事ばかりですが、ご指導ご鞭撻、またご厚誼のほどよろしくお願いいたします。

また、昨年の熊本地震に際しましては、皆様から過分なるお心遣いをいただき、大変恐縮しております。この場をおかりしてお礼申し上げます。

沖縄支部　島袋 節子
（昭和41年／短大生卒）

平成28年度活動報告

①平成28年10月16日（日）
第5回役員会
平成28年度支部総会の反省並びに平成29年度支部総会について

平成29年度活動予定

①平成29年度実践桜会沖縄支部総会（第25回）
日時：平成29年6月25日（日）12：00～16：00
場所：那覇セントラルホテル

英国支部　松島 みどり
（昭和49年／大被卒）

日本人墓地を訪れる

昨年ロンドン北部にあるヘンドン日本人墓地が80周年を迎え、麻生太郎財務相が出席し、献花と桜の苗木の植樹を行った。墓標には165人の名前が連なる。海外に住む私達にとってお墓をどうするか、選択肢が増えるわけである。日本人墓地とはどんなものなのか一度訪れてみたかったが、思いのほか立派なものでその景観は日本人であることを誇りに思えるほどであった。その後ランチをしたが日本人同士で語り合えることも意味深いことだった。

支部活動におけるインターネット環境について

実践桜会では、インターネット上でホームページ（HP）を開設しております。その中に支部活動をお知らせするコーナーを設けておりますが、現在の支部でのHPの活用状況を把握し今後の改善の参考とさせていただくため、国内37支部にインターネット環境のアンケートをお願いしました。

回答：19支部

❶ 現在、インターネットを利用している。	はい	10	いいえ	9
❷ 支部活動の情報をメールやデータでやり取りをしている。	はい	4	いいえ	15
❸ 会員でインターネットを活用する人材がいる。	はい	11	いいえ	7
❹ 会員相互でメールやインターネットを利用している。	はい	5	いいえ	14
❺ 桜会HPを支部活動に利用した事がある。	はい	4	いいえ	15
❻ 桜会HPに支部活動を載せたい。	はい	8	いいえ	10

インターネット活用の必要性は感じながらも、支部会員の高年齢化のため、その活用があまりなされていないのが現状のようです。今後は各支部で日頃インターネットを利用している方に積極的に活動にご参加いただき、その活用が活発されることを期待しております。また、イベント情報やスライドショーで桜会の活動の様子を楽しく見てくださったり、他のいろいろな情報のHP掲載や更新等を望む声もありました。

HPのより充実した活用のため、イベント情報やスライドショーを通して当会の活動をより積極的に発信する努力を続けてまいります。

（実践桜会広報部）

実践桜会バザー

実践桜会バザーは実践女子学園中高ときわ祭において開催されております。平成28年度は10月29日・30日の両日、中高ギャラリーアリーナ会場に大勢の皆さまにお越しいただき盛大におこなわれました。

桜会本部はこのバザーに毎年、各会員の皆さま、全国の多くの支部、各科会の皆さま、キャリアネットからのご協力を頂いております。

28年度に支部からお寄せいただいた品々のリストです。

支部名	寄贈品
札幌支部	六花亭お菓子類
函館支部	トマトジュース・菓子類他
岩手支部	盛岡冷麺
宮城支部	ワイン（スペインカヴァ）
秋田支部	稲庭うどん他
山形支部	庄内柿
福島支部	寄付金
茨城支部	干し芋
栃木支部	かんぴょう
群馬県支部会	沢田のたまり漬け各種
埼玉支部	片岡食品ねぎ味噌煎餅
千葉支部	落花生パイ・赤ピーマンドレッシング
山梨支部	ラベンダーポプリ（手作り匂い袋）
長野支部	信州の桃・林檎・葡萄各々のジュース

支部名	寄贈品
新潟支部	亀田製菓他お菓子類
富山支部	味噌・胡麻みそ・里芋
福井支部	花ラッキョウ
静岡支部	銀杏・お菓子類他
関西支部	都酢みそ
島根支部	タオル
山口支部	ふく雑炊スープ・雲丹醤油他
愛媛支部	蜜柑・新聞紙で作成した手提げ袋
高知支部	馬路村柚子ジュース
佐賀支部	陶器類他
大分支部	かぼす（4箱）
鹿児島支部	安納芋（2箱）
沖縄支部	琉球ガラス類・陶器
英国支部	Harrodsショートブレッド(royal familyデザイン）・マグカップ

いずれも各地の名産品や手作りの作品等、数多く送っていただきました。

また、学祖下田歌子先生の故郷岐阜県恵那市岩村からは、地元松浦軒本店の下田先生にちなんだ銘菓「歌子の里」を始めとしたお菓子を取り寄せて販売しました。更に、岩村山荘の「しそみそ」・山岡細寒天・えなてらすより生シイタケ・岩村醸造から甘酒や酒粕等恵那市の特産品も並び、加えて同地域の明智ひとつばたごのクラフト小物入れも販売されてそれぞれご好評をいただきました。

千葉支部の松戸ネットワークは東日本大震災の復興支援として手芸材料を岩手県大槌町に送り、出来上がった大槌町の皆さんの手作り品と千葉支部の会員の手作り作品とを出品されました。

さらに、国連ウィメン日本協会からはフィリピンで手作りされた布絵本・変身人形などが出品され、その売り上げは国連への拠出金となりこのバザーの広がりを実感しました。

その他にも会員の皆様から、衣料品・家庭雑貨・タオル・アクセサリーやお心の籠った手作りの品々が集まりました。

本年度も実践桜会バザーが秋に行われます。ご寄贈頂ける品がございましたら、お寄せ下さいますようお願い申し上げます。詳細につきましては、実践桜会事務局へお問合せ下さい。

尚、各支部・科会・並びに会員の皆さまから賜りました売上収益金は、実践桜会の運営に有効に活用させていただきます。

鳥取支部の皆様、桜会本部来館

平成28年10月27日に鳥取支部の皆様8名がご来館くださいました。

支部長　常田明美さん（S41大食卒）、　松本和子さん（S32短大生卒）
藤本博子さん（S43大被卒）、　播磨篤子さん（S47大被卒）
船橋昭子さん（S40短大国卒）、加藤真理さん（S58短大英卒）
国岡叡子さん（S45大被卒）、　小林千代美さん（S46短大英卒）

前日は、東京駅発はとバスにて、皇居前散策、東京タワー、浅草そして東京湾で昼食をしながらクルージングと楽しい一日を過ごされたとのこと。

10月27日、皆様は9時半頃に桜会館に到着。桜会館をご案内した後、隣接する実践女子大学キャンパスの香雪記念資料館、向田邦子文庫展示室、9Fカフェテリア、屋上庭園などを見学されました。昼食会では、方言で「帰ったで」と言ったことで出身地が知られてしまったことや、学校の近所に住み散歩姿を見かけることがあった志賀直哉の話も出たりして、学生時代の話しで多いに盛り上がりました。

鳥取は梨が有名ですが、近年では収穫期が短い「新甘泉」（しんかんせん）という品種も改良されているそうです。

（E・K）

「実践桜会のホームページ」ご案内

実践桜会では、皆様への情報公開を、ホームページ上でも行っております。イベントや同窓会活動をご覧いただき、同窓生同士の親睦を深める一助としてください。懐かしい情報もアーカイブでご覧頂けます。

先ずは　「実践桜会　検索」をクリックしてください。
　一般社団法人教育文化振興実践桜会
　（Jissen Women's Educational Insititute Alummae Group）
　www.j-sakura.org/
実践女子大学のホームページからも実践桜会（HP）へ入れます。

携帯電話の場合は
こちらから

❶本部だより
実践桜会本部からのお知らせ

❷支部
日本地図から支部名をクリックすると各支部の詳細が表示。

❸実践キャリアネット
就職転職に関して、仕事の悩みなどの相談。

❹科会
7つの科会からの状況報告・お知らせ

❺イベントカレンダー

❻社会活動
奨学金支給、結婚相談、貸室業務、法律相談のご案内。

❼会員の広場
26あるサークル活動のご案内

❽スライドショー
実践桜会正会員向け広報誌「なよたけ情報版」、卒業生全員向け広報誌「那与竹」バックナンバー

❾What's new
❿「最新記事」⓫「topics」と共に各支部、各科会、キャリアネット本部からのイベントのご案内及びその報告など最新情報を掲載。お知らせの骨子のみを掲載、興味のある方、より詳しく情報を知りたい方は画面上「もっと詳しく」をクリック。そちらで申し込み方法などの情報が得られます。イベントの募集が同時期に多くある場合には⓫「topics」へ掲載することもあります。

ホーページに掲載する投稿記事や写真をお寄せ下さい。　広報部メールアドレス：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

お知らせ

財務部だより

会員数約6万5千人の実践桜会は、実践女子学園を卒業された先輩方が受け継ぎその御尽力により、今日まで続いています。

受け継ぐ会員のボランティア活動が、次への橋渡しとなることを願って、私も日々活動をしています。

一般社団法人となり教育文化振興への公益目的事業を中心に、約6千人の方から納めて頂いた会費とご寄付により運営できています。

海外留学生や本学園の学生・生徒の方々への奨学金の給付、各支部の地域活動への助成、会報誌那与竹の発行が主な内容です。

更に実践女子学園との共催で実施している祝成人の会も5年目となり、本校の卒業生は晴れ着に身を包み、先生方・同窓生と門出を祝います。

また桜会館では、クラス会など催す際の手伝いを行っており、是非ご活用ください。

実践女子学園の発展と末永い継承が我々同窓会の願いでもあります。

新社会人の皆様、そして同窓会活動の時間のとれない皆様、年会費のご協力をよろしくお願い申し上げます。

実践桜会
財務部常任理事
佐藤 順子
（元実践女子学園教師）

サークル紹介「下田歌子先生の著作を読む会」

この会は、ひと月に1回（日曜日）集まり、下田歌子先生の著作を取り上げて読んでいます。難解な用語や文章の中から先生が述べようとされていることを知り、同時に参加者の生活体験も話し合う形式で行っています。始めてから約5年が経過したのを機に、2016年の学祖祭の日に5周年の報告会を行いました。これまでこの他に、講演会4回、見学会2回（護国寺での参拝とその界隈の散策、聖徳記念絵画館での絵画鑑賞）、下田先生関係資料の収集など行ってきました。参加者は、6～7名です。

先生の著作は多いのですが、板垣弘子編『下田歌子著作集』から「日本婦人」、「女子教育の前途について」、「礼法に就いて」、『家政学上下』（明治26年発行）、『新選家政学上下』（明治33年発行）をとりあげました。

この機会を通して、学祖の教えを知ることができ大変有意義です。　代表　神谷早苗

実践桜会会館利用サークルのご案内

サークル名	活動曜日	主な内容
アトリエ染花	第1日曜日	工芸・飾り花
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
かえで（楓）会	第2火曜日	染色
桂泉会	月2回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
桜書道教室	月2回土曜日	芸術・書道
下田歌子先生の著作を読む会	第3日曜日	研究会：下田先生を広く知る
童の会	不定期	文学・児童の研究と創作
十八の会	不定期	懇親会

サークル名	活動曜日	主な内容
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー刺繍
北欧刺繍に親しむ	不定期	北欧刺繍
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
萌黄会	第1月曜日・第3木曜日	日本刺繍
日本ギャスケル協会	第1又は第3日曜日（不定期）	ギャスケルの研究
日本バーナード・ショー協会	不定期	バーナード・ショーの研究
北欧クロスステッチ	不定期	北欧刺繍
JJF総会	不定期	実践女子学園に在籍中の子女を持つ父親の会
青脈会	不定期	山岳部OB会
ハワイアンスクール	第1・3火曜日	健康フラとウクレレ
能を楽しもう	不定期	謡い

2016.9 現在／お問合わせは会館事務局へ

平成29・30年度 代議員選出結果公示

平成28年10月吉日に公示しました代議員選出について、一般社団法人教育文化振興実践桜会代議員選出規程第5条2項により代議員立候補者の届出を審査いたしました結果、以下のとおり171名が代議員として確定いたしました。

平成29年2月28日　　一般社団法人　教育文化振興 実践桜会
理事長　鈴掛まゆみ
代議員選出管理委員会 委員長　古藤 黎子

都道府県	氏名	卒年	学科
北海道	川崎 雅子（カワサキ マサコ）	S33	短食
北海道	岩本 郁子（イワモト イクコ）	S37	大食
北海道	佐々木 智子（ササキ トモコ）	S51	大食
北海道	宮村 智子（ミヤムラ トモコ）	H01	大国
岩手	吉清水 裕子（ヨシミズ ユウコ）	S49	大国
宮城	渡辺 裕子（ワタナベ ユウコ）	S49	大食
宮城	小野寺 美智子（オノデラ ミチコ）	S55	院国
秋田	千葉 容子（チバ ヨウコ）	S38	大英
秋田	境田 幸子（サカイダ ユキコ）	S48	大被
山形	嘉規 則子（カキ ノリコ）	S45	大食
福島	福井 久美子（フクイ クミコ）	S46	大被
福島	山田 厚子（ヤマダ アツコ）	S49	大被
福島	渡辺 寿美子（ワタナベ スミコ）	S49	大被
福島	本多 節子（ホンダ セツコ）	S51	院国
福島	越智 美智子（オチ ミチコ）	S53	大食
茨城	多田 照子（タダ テルコ）	S36	大食
茨城	染谷 テルエ（ソメヤ テルエ）	S37	大食
茨城	久保田 節子（クボタ セツコ）	S40	短英
栃木	池島 敬子（イケジマ ノリコ）	S49	大英
群馬	茂木 初枝（モテキ ハツエ）	S45	大被
埼玉	石戸 昭子（イシド アキコ）	S20	専技
埼玉	石山 とも子（イシヤマ トモコ）	S34	短食
埼玉	大出 潤子（オオデ ジュンコ）	S34	短食
埼玉	武重 雪子（タケシゲ ユキコ）	S34	大食
埼玉	藤原 芳子（フジワラ ヨシコ）	S34	短食
埼玉	長峯 順子（ナガミネ ジュンコ）	S36	大食
埼玉	濱 節子（ハマ セツコ）	S37	短英
埼玉	細田 照子（ホソダ テルコ）	S44	大被
埼玉	田口 敏子（タグチ トシコ）	S46	短国
埼玉	野中 裕子（ノナカ ユウコ）	S51	大英
埼玉	深谷 敬子（フカヤ ケイコ）	S52	大食
埼玉	吉野 淳子（ヨシノ アツコ）	S52	大食
埼玉	田中 三恵子（タナカ ミエコ）	S60	大国
埼玉	小河原 俊子（オガワラ トシコ）	H04	院食
千葉	福村 和子（フクムラ カズコ）	S32	短被
千葉	鈴木 美知子（スズキ ミチコ）	S41	大国
千葉	須賀原 淳子（スガハラ ジュンコ）	S42	大食
千葉	芳野 道子（ヨシノ ミチコ）	S42	大食
千葉	出家 成子（デイエ シゲコ）	S47	大被
千葉	東 由美（ヒガシ ユミ）	S47	大被

都道府県	氏名	卒年	学科
千葉	植松 ちどり（ウエマツ チドリ）	S49	大英
千葉	福田 恵子（フクダ ケイコ）	S51	短英
千葉	尾崎 千恵子（オザキ チエコ）	S55	短被
東京	加瀬 和子（カセ カズコ）	S23	専国
東京	山岩 光子（ヤマイワ ミツコ）	S27	高校
東京	原 康代（ハラ ヤスヨ）	S32	大国
東京	阿部 公江（アベ キミエ）	S33	大国
東京	栗山 泰子（クリヤマ ヤスコ）	S33	大国
東京	篠田 俊子（シノダ トシコ）	S34	大英
東京	花岡 得子（ハナオカ トクコ）	S34	短国
東京	栢沼 博子（カヤヌマ ヒロコ）	S35	高校
東京	藤田 陽子（フジタ ヨウコ）	S35	大国
東京	中原 和子（ナカハラ カズコ）	S36	大国
東京	藤田 佐和子（フジタ サワコ）	S36	大英
東京	池田 蕗子（イケダ フキコ）	S37	大英
東京	浦上 淳子（ウラガミ ジュンコ）	S37	短英
東京	金塚 敦子（キンヅカ アツコ）	S37	高校
東京	冨士川 素子（フジガワ モトコ）	S37	高校
東京	大川 徳子（オオカワ トクコ）	S39	短食
東京	木村 和子（キムラ カズコ）	S39	大英
東京	藤谷 文子（フジタニ フミコ）	S39	大英
東京	飯泉 邦子（イイズミ クニコ）	S40	大英
東京	佐藤 由紀子（サトウ ユキコ）	S41	大被
東京	新谷 節子（シンヤ セツコ）	S41	大英
東京	田島 みち代（タジマ ミチヨ）	S41	大被
東京	田中 幸子（タナカ サチコ）	S41	高校
東京	戸澤 雅子（トザワ マサコ）	S41	大英
東京	永井 和子（ナガイ カズコ）	S41	大英
東京	髙田 恵美子（タカダ エミコ）	S42	大国
東京	秋田 秋穂（アキタ アキホ）	S43	短被
東京	神田 佐智子（カンダ サチコ）	S43	短被
東京	高野 和子（タカノ カズコ）	S43	短食
東京	田中 幸子（タナカ サチコ）	S43	短食
東京	松尾 千秋（マツオ チアキ）	S43	短英
東京	鷲崎 千春（ワシザキ チハル）	S43	大英
東京	前村 治代（マエムラ ハルヨ）	S45	短食
東京	荒井 櫻子（アライ サクラコ）	S46	大被
東京	片桐 静子（カタギリ シズコ）	S46	大英
東京	呉 由紀子（クレ ユキコ）	S46	大食
東京	野崎 啓子（ノザキ ケイコ）	S46	大食

都道府県	氏名	卒年	学科
東京	國田 陽子（クニタ ヨウコ）	S47	大国
東京	中島 千丘（ナカジマ チオカ）	S47	大国
東京	松岡 久美子（マツオカ クミコ）	S47	大被
東京	山﨑 恭子（ヤマザキ キョウコ）	S47	大被
東京	味岡 令子（アジオカ レイコ）	S48	大国
東京	建部 静代（タテベ シズヨ）	S48	大英
東京	中野 真佐子（ナカノ マサコ）	S48	大英
東京	岩佐 真佐子（イワサ マサコ）	S49	短英
東京	油井 恵子（ユイ ケイコ）	S49	短食
東京	吉岡 艶子（ヨシオカ ツヤコ）	S49	短被
東京	青山 マキ子（アオヤマ マキコ）	S50	大国
東京	串崎 扶美子（クシザキ フミコ）	S50	短国
東京	神谷 早苗（カミヤ サナエ）	S51	院国
東京	久保田 恭子（クボタ ヤスコ）	S51	大被
東京	宮木 孝子（ミヤキ タカコ）	S51	院国
東京	渡邊 順子（ワタナベ ヨリコ）	S52	大食
東京	関 登美子（セキ トミコ）	S54	院食
東京	草間 美智子（クサマ ミチコ）	S56	短食
東京	山本 順子（ヤマモト ジュンコ）	S56	大被
東京	久保 貴子（クボ タカコ）	S63	院国
東京	高橋 路奈（タカハシ ミチナ）	H07	大英
東京	榎本 真由美（エノモト マユミ）	H08	院国
東京	菅野 星来（スガノ セイラ）	H22	高校
東京	木村 眞子（キムラ マコ）	H24	高校
東京	川口 友絵（カワグチ トモエ）	H26	短国
神奈川	熊切 冨子（クマキリ トミコ）	S23	専生
神奈川	曽根原 直子（ソネハラ ナオコ）	S29	大食
神奈川	野口 伊津子（ノグチ イツコ）	S29	大食
神奈川	関根 まち子（セキネ マチコ）	S34	大食
神奈川	松尾 美貴子（マツオ ミキコ）	S34	大食
神奈川	若松 幸子（ワカマツ サチコ）	S34	大国
神奈川	浅賀 由紀子（アサガ ユキコ）	S37	高校
神奈川	宍道 敬子（シシドウ ケイコ）	S37	高校
神奈川	新庄 豊子（シンジョウ トヨコ）	S37	高校
神奈川	内山 孝子（ウチヤマ タカコ）	S39	短食
神奈川	菊池 美枝子（キクチ ミエコ）	S39	短食
神奈川	番場 桂子（バンバ ケイコ）	S39	短食
神奈川	渡邊 夏子（ワタナベ ナツコ）	S39	高校
神奈川	五十嵐 幸子（イガラシ サチコ）	S40	大英
神奈川	佐伯 静子（サエキ シズコ）	S40	短被
神奈川	青木 正子（アオキ マサコ）	S41	大被
神奈川	岡本 弘子（オカモト ヒロコ）	S41	大英
神奈川	黒羽 康子（クロハ ヤスコ）	S41	大英
神奈川	森 郁子（モリ イクコ）	S41	大英
神奈川	森 典子（モリ ノリコ）	S41	大英
神奈川	島尾 光代（シマオ ミツヨ）	S42	大食
神奈川	山内 典子（ヤマウチ ノリコ）	S43	短英

都道府県	氏名	卒年	学科
神奈川	市川 幸子（イチカワ サチコ）	S45	大国
神奈川	鹿島 恵子（カシマ ケイコ）	S45	大被
神奈川	横橋 貴子（ヨコハシ タカコ）	S45	大英
神奈川	田光 雪枝（タコウ ユキエ）	S47	大英
神奈川	西向 みち子（ニシムコ ミチコ）	S47	大被
神奈川	佐藤 明子（サトウ アキコ）	S48	大被
神奈川	守田 由紀子（モリタ ユキコ）	S48	大英
神奈川	緒方 恵子（オガタケイコ）	S56	短食
神奈川	井上 寿乃（イノウエ ヒサノ）	H08	大英
神奈川	北村 はるか（キタムラ ハルカ）	H20	大生
神奈川	大門 利都子（ダイモン リツコ）	H24	高校
山梨	大島 節子（オオシマ セツコ）	S47	短食
長野	矢ヶ崎 邦子（ヤガサキ クニコ）	S32	短食
長野	塚田 倭文子（ツカダ シズコ）	S45	大被
新潟	加賀田 孝子（カガタ タカコ）	S41	大食
新潟	寺澤 昭子（テラサワ アキコ）	S41	大食
新潟	岩見 燿木（イワミ ヨウコ）	S45	大英
新潟	玉木 民子（タマキ タミコ）	S48	大食
新潟	齋藤 清子（サイトウ キヨコ）	S51	大食
富山	山本 順子（ヤマモト ジュンコ）	S33	短被
福井	谷 洋子（タニ ヒロコ）	S42	大食
静岡	森田 幹子（モリタ ミキコ）	S24	専生
静岡	鏡島 眞理子（カガミシマ マリコ）	S52	大被
愛知	神谷 洋子（カミヤ ヨウコ）	S47	大食
愛知	水谷 裕子（ミズタニ ユウコ）	S61	大国
三重	竹腰 葵（タケコシ アオイ）	S44	大英
京都	今泉 恭子（イマイズミ キョウコ）	S48	大英
大坂	若原 まり子（ワカハラ マリコ）	S49	大英
兵庫	並川 みき子（ナミカワ ミキコ）	S45	大国
鳥取	常田 明美（ツネダ アケミ）	S41	大食
島根	大谷 香代子（オオタニ カヨコ）	S49	大国
岡山	谷本 淑恵（タニモト ヨシエ）	S54	大英
山口	原田 智津子（ハラダ チヅコ）	S57	大食
愛媛	城徳 かをる（ジョウトク カヲル）	S41	短食
高知	青木 京子（アオキ キョウコ）	S49	大国
福岡	玉井 由紀子（タマイ ユキコ）	H03	院被
佐賀	藤山 たか子（フジヤマ タカコ）	S49	大食
長崎	山脇 美代（ヤマワキ ミヨ）	S55	院食
熊本	瀬口 敬代（セグチ タカヨ）	S59	短英
大分	清水 登美子（シミズ トミコ）	S50	大国
鹿児島	山口 圭子（ヤマグチ ケイコ）	S57	大食
鹿児島	山之江 清子（ヤマノエ キヨコ）	S59	短国
沖縄	島袋 節子（シマブクロ セツコ）	S41	短食
英国	松嶋 みどり（マツシマ ミドリ）	S49	大被

以上

本部だより

学祖祭

平成28年10月8日、学祖下田歌子先生のご命日に実践桜会理事長をはじめ学園関係者が揃って護国寺に墓参しました。渋谷に戻り、中高桃夭館香雪記念室の祭壇（神式）に参拝。その後、実践桜会会館の祭壇（仏式）に参拝をし、昭和11年のご逝去から80年忌のこの日を皆さまとお供え香で日本の女子教育の先駆者である下田歌子先生の遺徳を偲びました。

本年は10月7日（土）に行われます。多くの皆様が学祖祭にご参集下さることを願っております。

母校教育助成事業

平成28年度定時総会（5月15日）に実践桜会より学園助成金を井原学園理事長に贈呈致しました。

大学「常磐祭」10月16日（渋谷キャンパス）11月13日（日野キャンパス）において、実行委員会に協賛金贈呈及び桜会賞（研究部門・芸術部門）を授与しました。

実践桜会奨学基金事業

学園高校生1名に給付しました。公募により実践女子大学生2名に給付いたしました。10月のバザーに参加しました。

実践桜会国際交流基金事業

留学生3名（韓国1名・ベトナム1名･台湾1名）に奨学金を給付しました。10月と3月に実践桜会との交流会を開催しました。晴れ着を着て日本文化を体験してもらいました。

社会活動助成事業

会員以外の参加者も視野に入れた諸活動を行った科会、13支部、計18団体に社会活動助成金として上限5万円を助成いたしました。

法律相談

月1回、第2水曜日（11時～16時）に行っています。秋田瑞枝弁護士が相談を担当します。事前に電話で予約してください。秘密厳守をお約束いたします。詳細は実践桜会会館にお問い合わせください。

実践桜会バザー開催

平成28年10月29日（土）30日（日）実践女子学園中高ときわ祭（於中高体育館ギャラリーアリーナ会場）にて、実践桜会バザーを開催いたしました。会員の皆様、各科会、全国各支部から、特産品、手作り品、雑貨等多数ご寄贈頂きました。学祖下田歌子先生ご生誕の地、恵那市岩村からの品々も販売いたしました。

皆様のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

●バザー寄贈品ご提供のお願い

平成29年度実践桜会バザー

開催日：平成29年10月28日（土）29日（日）

＊寄贈品のご提供のお願い（受付期間 4月～10月20日）

※衣類は新品に限らせて頂きます。

＊バザー当日のお手伝いを募集します（受付期間 4月～9月末）

お問合せは、実践桜会事務局または実践桜会文化部まで

初春歌舞伎観劇会

平成29年1月8日（日）国立劇場大劇場にて、開場50周年記念公演「通し狂言―しらぬい譚」（尾上菊五郎監修）を325名の皆様と共に観劇いたしました。

お正月らしい華やかな舞台、尾上菊之助の華麗な斜め宙乗り、迫力ある屋台崩し等、趣向を凝らした演出の、見どころ満載な公演を楽しみました。加えて国立劇場より実践桜会にちなんで“桜の花”のおもてなしをしていただきました。今年も多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。

実践桜会バス旅行のご案内

「栃木県足利への旅～学祖下田歌子先生の足跡をたずねて」

日時：平成29年7月12日（水）

場所：史跡足利学校、あしかがフラワーパーク、栗田美術館（予定）

参加費：￥9,000前後（交通費・昼食費・入園料・保険料込）

お問合せ先：実践桜会館（電話03-3407-7459）

祝・成人の会

平成28年度に20歳を迎える実践女子学園高等学校卒業生（平成27年3月卒業）の「祝・成人の会」が、平成29年1月9日（月・祝）に実践女子学園桃夭館にて開催されました。企業5社から協賛をいただき、当日は天候にも恵まれ、晴れ着姿の新成人229名が集いました。

第1部は桜講堂で式典が行われ、校長、桜会理事長、学園理事長の挨拶、懐かしのDVD放映、先生方からのお祝いスピーチがあり、最後に全員で記念写真の撮影を行いました。第2部はカフェテリアに場所を移して懇親会が行われ、桜会ときわ会会長挨拶に続き、学園副理事長の乾杯、新成人代表が成人の会に対する謝意とこれからの抱負を述べました。

新成人になった喜びと母校で同級生に再会できた嬉しさとで、会場は華やかさと熱気に満ちていました。

会費納入のお願い（年会費2,000円）

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは振込用紙にてお近くのコンビニ、ゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、下記の銀行口座を使い、銀行振り込みもご利用ください。

みずほ銀行渋谷中央支店（１６２）
口座番号普通１１８９７９５
一般社団法人教育文化振興実践桜会

なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。
TEL：03-3407-7459　　FAX：03-3499-0835
＊いずれの場合も会員番号、卒年学科のご記入をお願い致します。

初風みどりさんストレッチ講習会

10月14日（金）午後1時より、桜会会館101・102室において、ときわ会主催による元宝塚歌劇団花組の初風みどりさんの～ストレッチ講習会～が開かれました。受講生は18名、初参加の方も多く皆さん少し緊張気味の中、初風さんの明るく包むような笑顔と「さあ、気持ちよく体を動かしましょう」の呼びかけでスタート。

まずは参加者達の前に1人づつ出てウオーキングです。初風さんが「腰を庇って前屈みになっていますね。丹田を意識すると背中が伸びますよ。」とか、「痛めた膝を庇ってますね。健康な足の動きに段々近づけていきましょう。」「もう少しつま先を上げて、蹴り上げにも気持ちを向けましょう。」と各人にアドバイスを下さいました。

いよいよストレッチ、意識をどこに向けて体を伸ばすとより効果が上がるのかという説明を受けながら、普段使っていない筋肉を動かす為のポーズを習い、じわりと汗が出てきます。体がほぐれた所で宝塚の舞台音楽にあわせ、鏡を見ながら初風さんのステップの動きを真似します。無我夢中の内にダンスらしくなってゆきました。クールダウンの後は再度1人づつウオーキングすることに。なんと、皆さんの歩き方が美しくなっていました。

講習後は初風さんを囲んでお喋りタイムがありました。初風さんは実践の高校の卒業生で、現在は学園で演劇やダンスの指導をされています。また、学園生による下田先生をモデルとしたミュージカル「ことほぎ」の制作・指導をしておられます。更に、大学ではプレゼンテーションのワークショップをなさっています。それらを通じて感じられている現在の学生達の様子を話して頂きました。

初風さんの魅力あふれるお人柄はもとより、豊富な知識と経験に裏打ちされた指導力にすっかり魅了された午後でした。（S・T）

AED講習会を行いました

平成28年9月18日（日）実践桜会会館1Fホールにて　AED講習会を行いました。設置が義務付けられているAEDを当会館においても8月に設置致しました。それに伴い渋谷消防署管轄の消防団の4名の方に講師として来ていただきました。

桜会理事長をはじめ17名の理事と3名の事務員が参加し、経験者・未経験者様々でしたが真剣に講師の説明に耳を傾けました。

傷病者への対応は①周囲の安全確認②反応の有無を両肩を軽く叩きながら呼びかけて確かめる③119番への通報とAEDの搬送を周囲の人に具体的に指示して協力を得る④呼吸がない場合心肺蘇生を救助が来るまで行うことが基本です。

心肺蘇生法は人形を使って行いました。胸が5cm沈む程1分間に100～120回圧迫するのですが、かなり力のいる動作に驚きました。そして、人工呼吸は気道確保の為、顎先を持ち上げながら額を押し上げて頭を反らします。その後鼻を塞ぎ口を覆って胸の上りが見えるほど空気を吹き込みます。実際にはこの胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返し行い、AEDや救急の到着を待ちます。

AEDとは心電図自動解析装置を内蔵した医療機器で、傷病者に除細動（電気ショック）が必要か否かを機器が判断し、必要な場合には音声ガイドで使用方法を指示します。最初は機械の扱いに戸惑いましたが、的確な音声指示に促されて訓練を重ねることが出来ました。しかしながら心肺蘇生法・人工呼吸法共に一朝一夕に身につくものでないことも痛感いたしました。

これら一連の講習の後に講師の方々と質疑応答が行われました。そして、緊急時に救助する側のリスクやそれを回避する為の方法・子供や乳幼児への対応の違い等、知っておくべき様々な知識をご教授いただきました。

講習後、数週間して参加者全員に「救命技能認定書」が届きました。この講習体験を維持・向上していくためにも今後は講習会を定期的に行って知識定着を図るで所存でおります。その折には、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

〈桜会会館ではAEDを事務所受付の横に設置しております〉

告知板

♥結婚相談室♥

相 談 日 ：原則として毎月第2、第4土曜日・10：30～16：00
（10月第2土曜日は相談日が変更になる場合があります。）
休　　室：8月第2土曜日、12月第4土曜日
会　　場：実践桜会会館
入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女
入 会 金 ：2万円、書類代：1千円
入会時に持参するもの：入会ご希望の本人直筆の履歴書写真5枚（本人のみ、スナップ可）
☆秘密厳守で評判の良い相談室です。
☆詳細は相談日にお問い合わせください。
連 絡 先 ：TEL 03-3407-7459（実践桜会会館）

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい新会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合わせ等にお気軽にご利用ください。

詳細は実践桜会事務局（TEL 03-3407-7459）へお問い合わせください。

実践桜会囲碁教室

囲碁教室を始めてから6年。昨年初めて社会人の囲碁団体戦に「実践桜会」として参加しました。参加者3人はそれぞれの成績でしたが、各種団体の囲碁サークルとの交流ができました。さらに、実践女子大学の学生との交流もできればよいと思っています。最近、囲碁の世界でも人工知能の素晴らしさが話題になっていますが、この会では人と人とのやり取りの中に素晴らしさがあり、和気藹々と集うことに意義があるのも1つです。（y.k）

［開室］原則として、第2・第4月曜日 13：00～16：00
［教室の開室予定日］
4/10・4/24・5/8・5/22・6/12・6/26・7/10・7/24・8/7・8/28・9/11・9/25
［会費］一回 1,000円 （自由対局 500円）
［講師］柳川正興（アマ6段）
自由対局　4/17・5/15・6/19　10：30～16：00
卒業生の川村麻紗子さん（アマ5段）の指導があります。
［連絡先］実践桜会事務　TEL 03-3407-7459

平成28年度分会費を二重納入された方及び
平成27･28年度学園高校卒業生へのお知らせ

各　位

昨年10月の『なよたけ情報版』をお送りした際に、会費を再度お振込みくださいました会員の方々につきましては、その分を平成29年度の会費に振り替えさせていただきます。ご迷惑をお掛けいたしましたが、ご了承のほどお願い申し上げます。

なお、平成27年度･28年度、実践女子学園高校卒業生の方々は、今年度分はすでに頂戴しておりますのでお振込みの必要はございません。

●会費納入に関するお問い合わせ先
実践桜会　TEL 03-3407-7459

［編集後記］

「那与竹80号」は、新卒業生の皆様と同窓生の方々に実践桜会の活動や科会と支部の情報、社会でご活躍の卒業生のご様子と母校の情報をお届けしたいと取り組んでまいりました。皆様に興味を持ってご覧いただければ幸いです。

【寄附者ご芳名】（敬称略）
櫻岡善子、野崎啓子、鈴木暁子、山内和子、渡辺睦子、山口節子、永井博子、服部イク、大川知子、鈴掛まゆみ、新井正子、柳川仲子、若松幸子、篠田俊子、鍛島康子、竹下成子、西向みち子

【お願い】
転居・改姓等をされた方および会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号、卒年学科をご確認の上、実践桜会事務局（TEL：03-3407-7459、FAX：03-3499-0835）までご連絡ください。

編集・発行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会
編集・発行人：鈴掛まゆみ
〒150-0011東京都渋谷区東1-1-40
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
URL：http://www.j-sakura.org
広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp
振込口座：東京00190-0-2384
印刷：株式会社ローヤル企画

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費 2,000 円の納入をよろしくお願いします。

同封の振込用紙でご納入ください。お近くのコンビニまたはゆうちょ銀行か郵便局（窓口、ATM）をご利用下さい。実践桜会事務局でも受け付けております。

【表紙の色】日本の伝統色より「灰白」

2017 一般社団法人教育文化振興 実践桜会 無断転載禁止 Printed in Japan